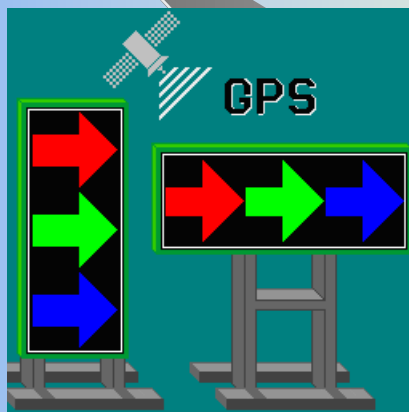


GPS連動対応 ソーラー式LED標示機

IGMシリーズ 編集ソフト 説明書

対応機種：IGM335 / IGM435 / IGM635 各シリーズ 他

簡単編集/書込方法 編



このソフトは、IGMシリーズ L E D 標示機の表示メッセージの編集を
Windowsパソコン/Windowsタブレットで行う為のものです。

更新用データファイルをUSBメモリに出力し、

IGMシリーズ L E D 標示機本体をアップデートすることで
ユーザーが作成したメッセージを表示させることが可能です。

内容

- 1. 準備
- 2. ソフトのインストール
- 3. 編集ソフトの起動
- 4. 画面説明
- 5. メッセージ作成例
- 6. LED標示機本体更新ファイルの出力
- 7. LED標示機本体への書き込み
- 8. LED標示機本体での表示

1. 準備（必要なもの）

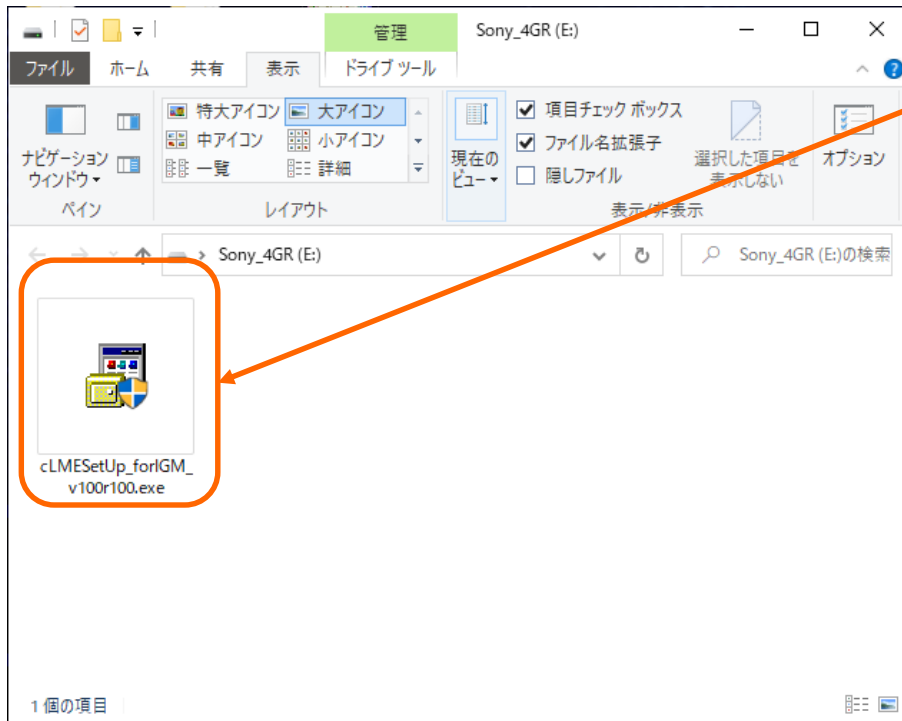
- IGMシリーズ 対応編集ソフトウェア
- Windows/パソコン/Windowsタブレット
(対応OS:Windows10・8・7・2000・XP)
- LED標示機本体(IGMシリーズ)
- USBメモリ

※ ソフトウェアは無償支給となります。必要な際は、弊社にお申し付け下さい。

※ アプリケーションのデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合があります。

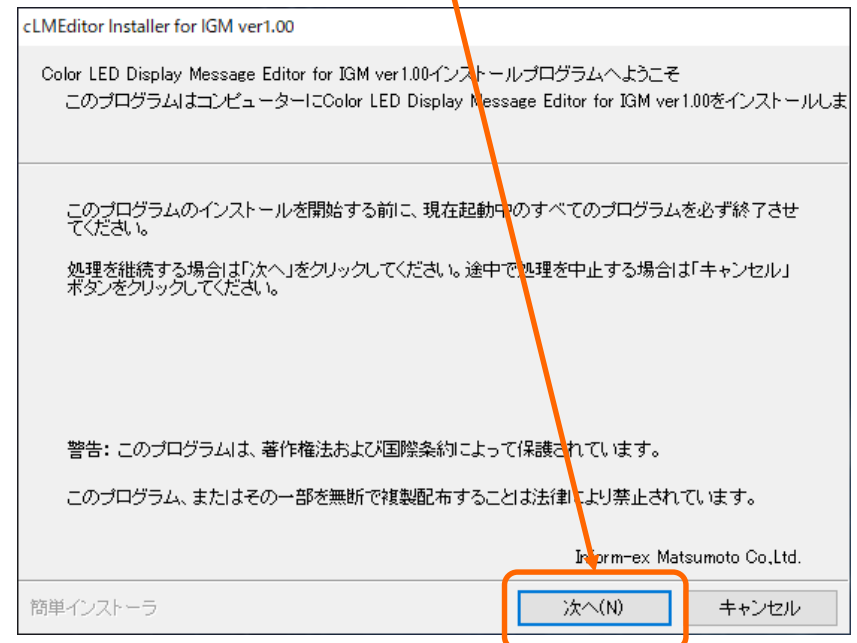
2. ソフトのインストール 【その1】

- インストール用のCD-ROMをパソコンにセットします。
- CD-ROMの内容を開くと、「cLMESetUp_forIGM_v1**r***.exe」というファイルがあります。（*はバージョンにより異なります）
そのアイコンをクリック(またはダブルクリック)してインストールプログラムを起動します。

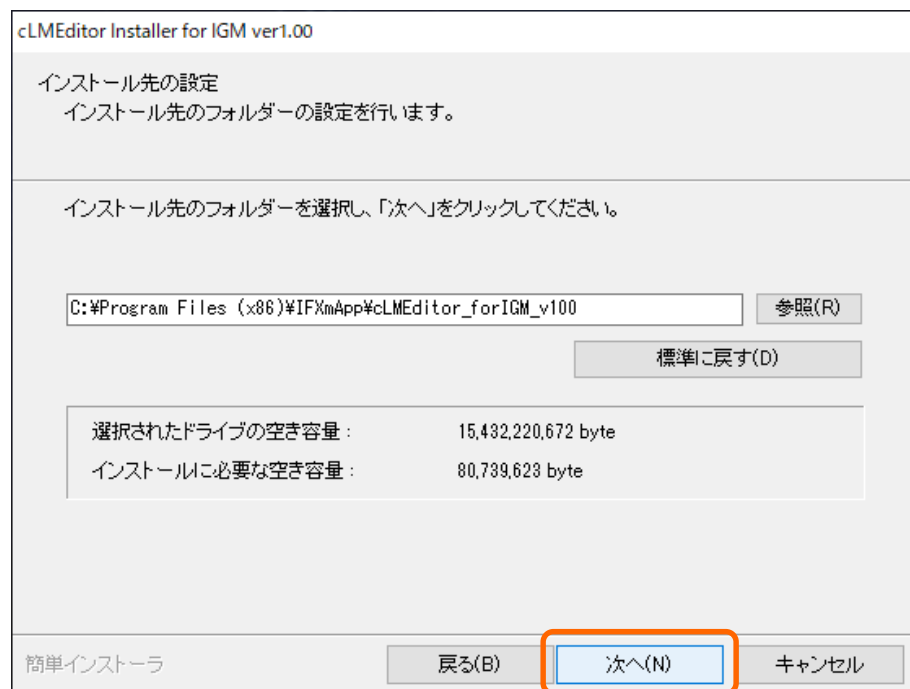


①起動します。

②次へ(N)を押します。

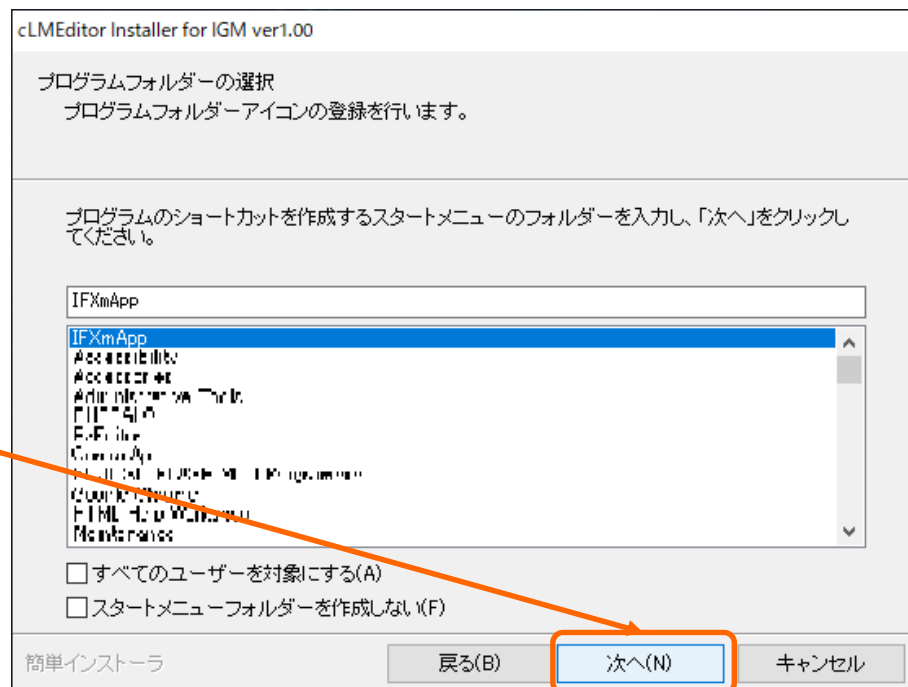


2. ソフトのインストール 【その2】

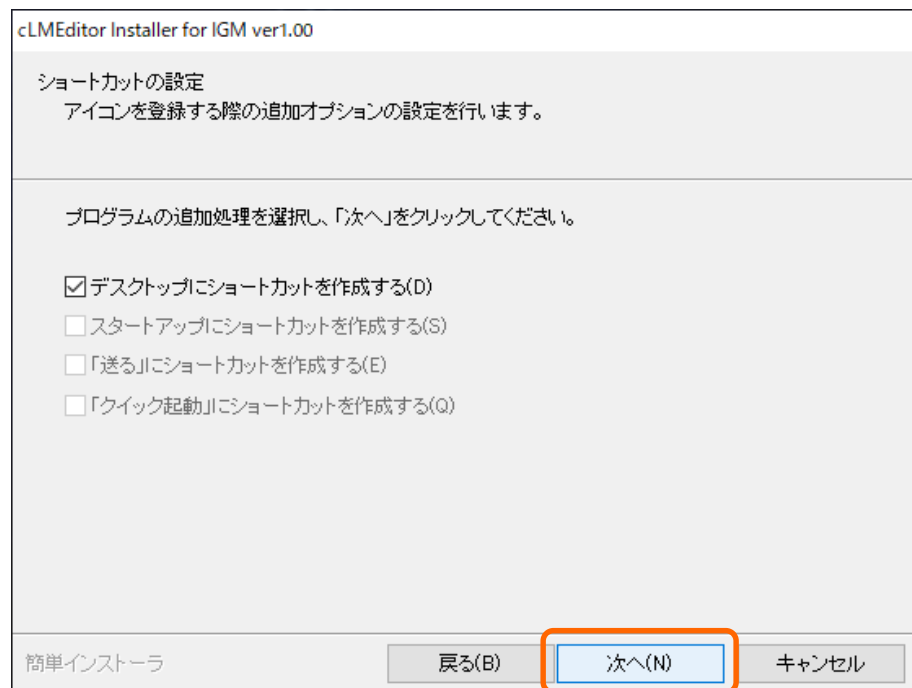


③ 次へ(N)を押します。

④ 次へ(N)を押します。

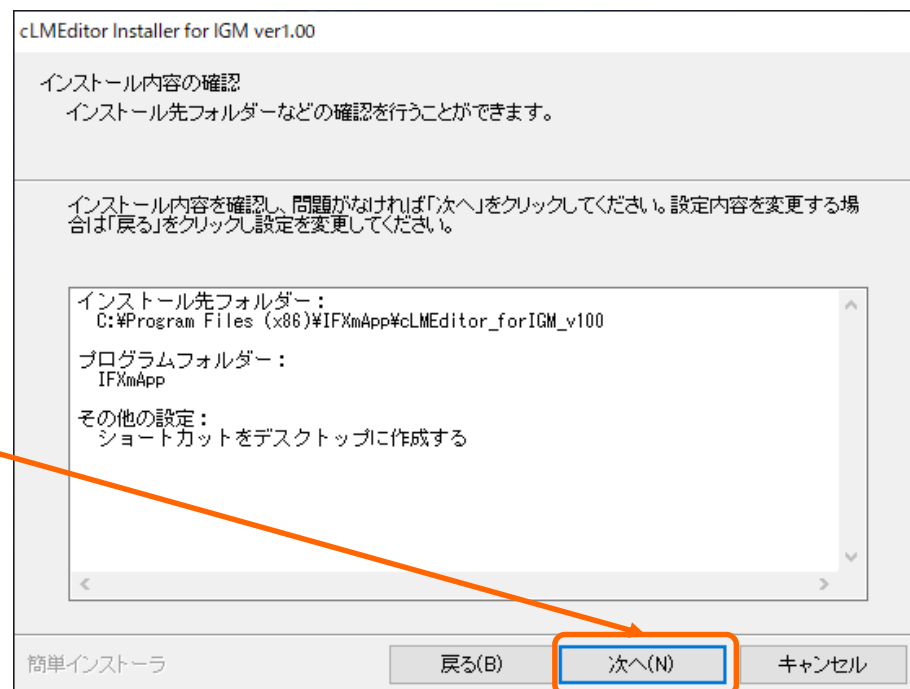


2. ソフトのインストール 【その3】

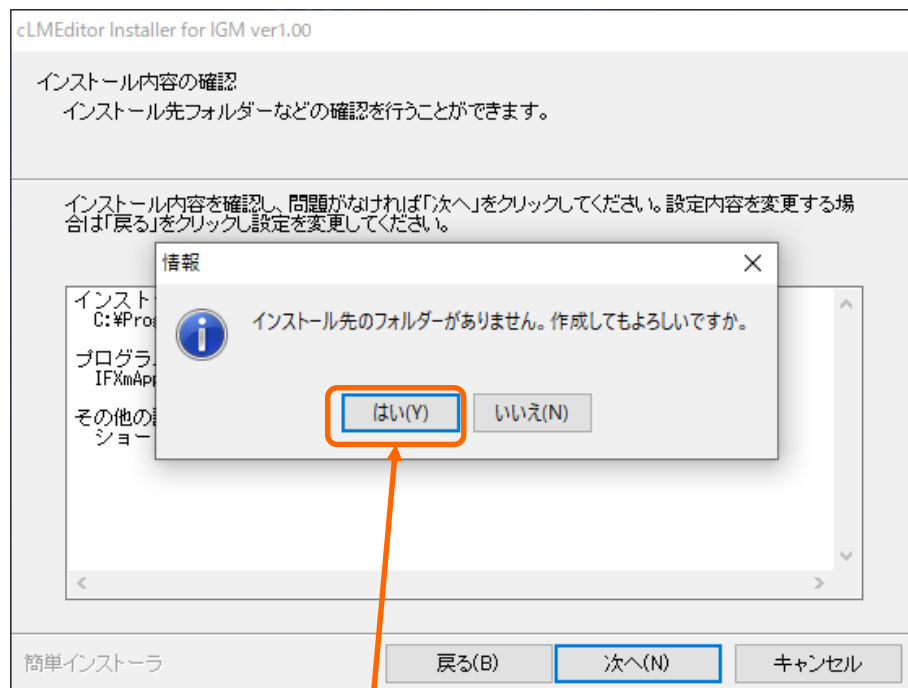


⑤ 次へ(N)を押します。

⑥ 次へ(N)を押します。

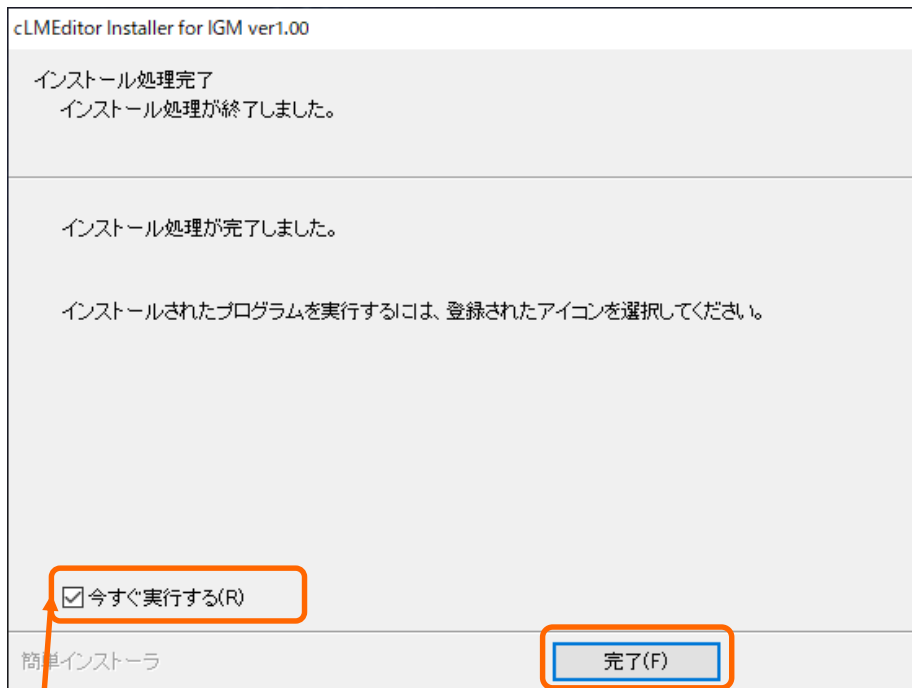


2. ソフトのインストール 【その4】



⑦ はい(Y)を押します。

2. ソフトのインストール 【その5】



パソコン画面



アイコン

⑧ 完了(F)をクリックするとインストールが完了し、
デスクトップにスマート編集ソフトのアイコンが現れます。

今すぐ実行する (R) がチェックしてある場合は、編集ソフトが起動します。

3. 編集ソフトの起動 【その1】

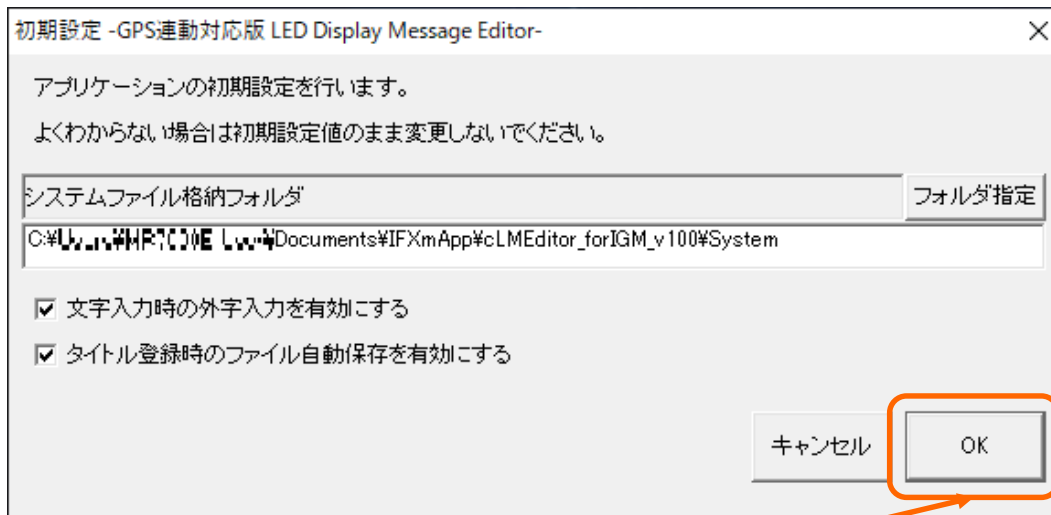
- 『cLMEditor for IGM ver*.**』 をクリック(またはダブルクリック)し、編集ソフトを起動します。

- ① アイコンをクリック
(またはダブルクリック)します。



パソコン画面

初期設定が済んでいない場合は、初期設定を行います。

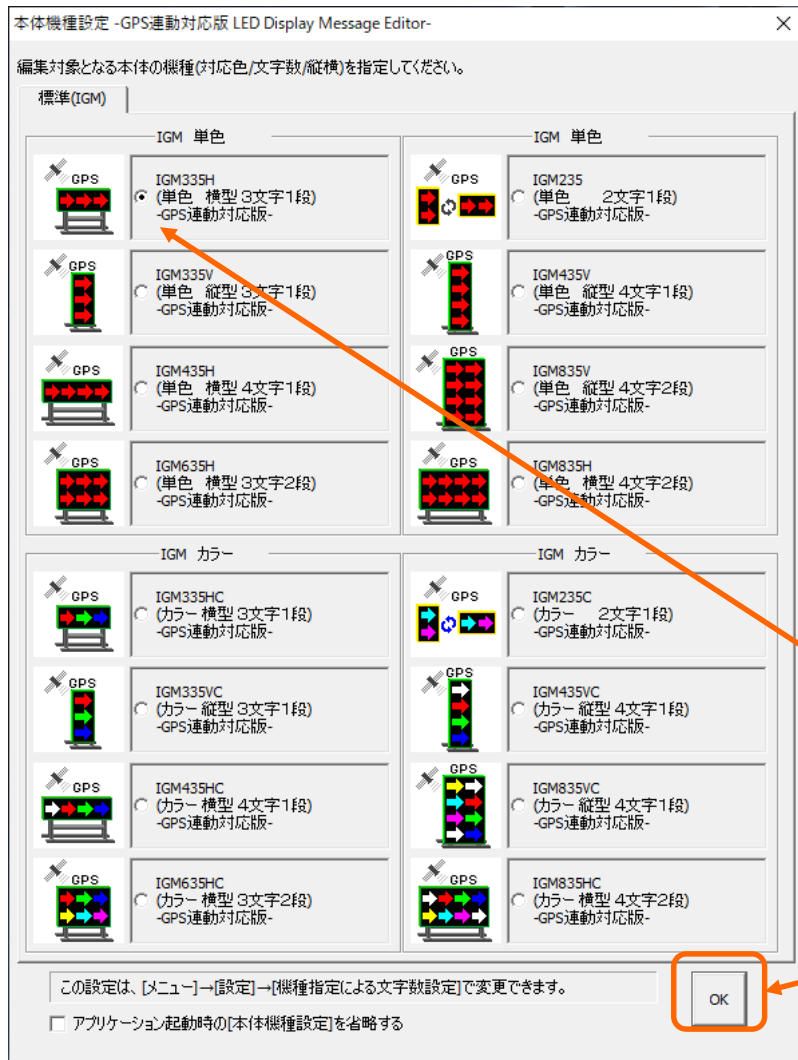


- ② OKを押します。

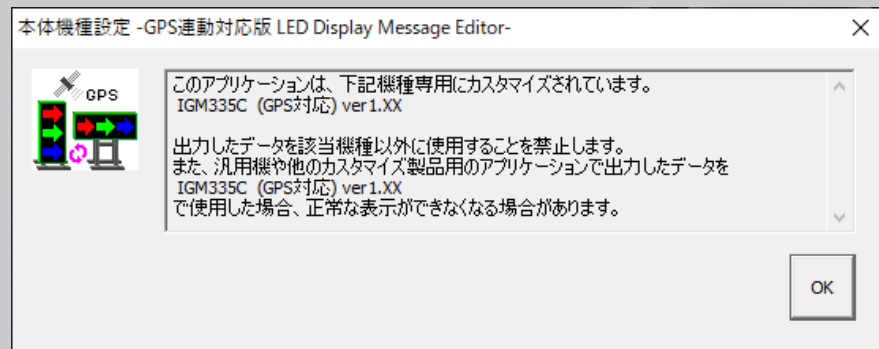
初回起動時のみの操作です。次回以降の起動時には、この操作は不要です。

3. 編集ソフトの起動 【その2】

⑤ 編集対象機種種の指定画面が起動します。



※ 特定機種カスタマイズ版ではこの画面は省略され、
以下のような確認画面が表示されます。
(機種により表示内容は異なります)



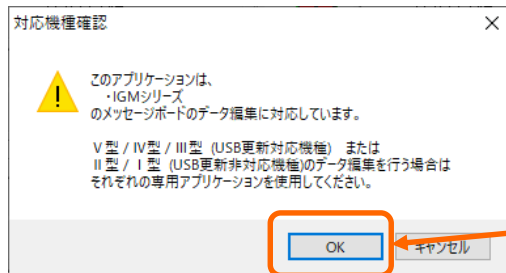
⑥ 編集する機種を選び、
チェックを入れて下さい。
(図は IGM335H の場合)

⑦ OKを押します。

上の図には、実際には存在していない機種も記載されています。

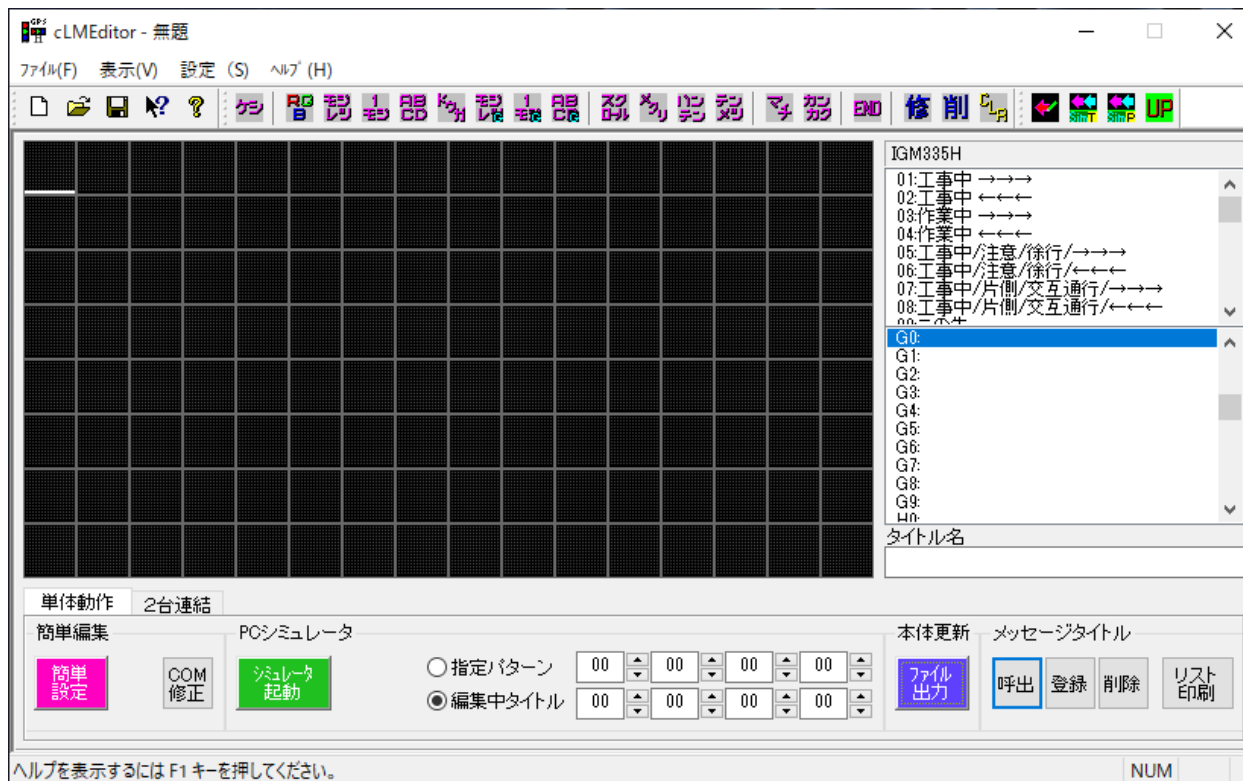
3. 編集ソフトの起動 【その3】

⑧ 対応機種確認のメッセージが表示されます。



⑨ OKを押します。

⑩ OKを押すと、編集画面が現れます。



4. 画面説明

- 画面構成は以下のように分類されます。

『ファイル操作』

『編集コマンド』

『起動コマンド』

『メッセージタイトル』

The screenshot shows the cLMEditor application window. The title bar reads 'cLMEditor - 無題'. The menu bar includes 'ファイル(F)', '表示(V)', '設定(S)', and 'ヘルプ(H)'. The toolbar contains icons for file operations (new, open, save, print, etc.), editing commands (undo, redo, copy, paste, etc.), and startup commands (start, stop, etc.). The main workspace is a large grid. On the right, a list of messages is displayed, starting with 'GM335H' and followed by numbered items like '01:工事中', '02:工事中', etc. The bottom panel has tabs for '単体動作' and '2台連結'. Under '単体動作', there are buttons for '簡単編集' (Simple Edit) and 'COM修正' (COM Correction). Under '2台連結', there are buttons for 'PCシミュレータ' (PC Simulator) and '本体更新' (Update Unit). The '簡単編集' button is highlighted with a pink box. The 'PCシミュレータ' button is highlighted with a green box. The '本体更新' button is highlighted with a blue box. The 'メッセージタイトル' (Message Title) section has buttons for '呼出' (Call), '登録' (Register), '削除' (Delete), and 'リスト印刷' (Print List). The status bar at the bottom says 'ヘルプを表示するには F1 キーを押してください。' (Press the F1 key to display the help).

『簡単編集』

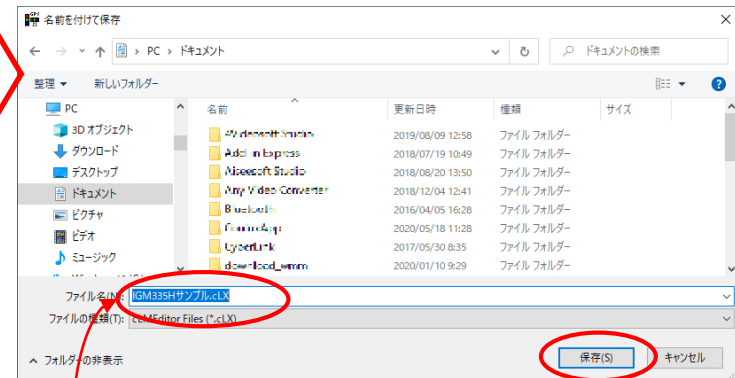
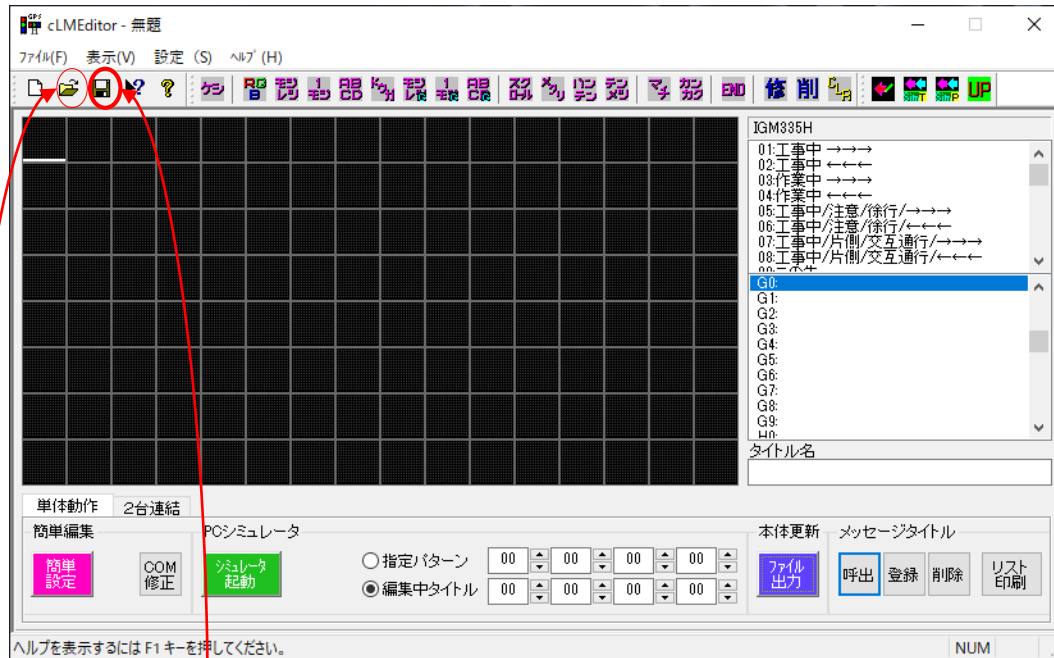
『PCシミュレータ』

『本体更新』

5-0. メッセージ作成例 【準備】

●実際に文字を作成しよう！

メッセージデータファイルの作成



① 『保存』 ボタンを押します。

② ファイル名を入力して『保存』 ボタンを押します。

作成したメッセージは、このファイルに自動的に保存されます。

※過去に作成したファイルに追加で作成する場合は、
『読込』 ボタンでデータを読み出して下さい。

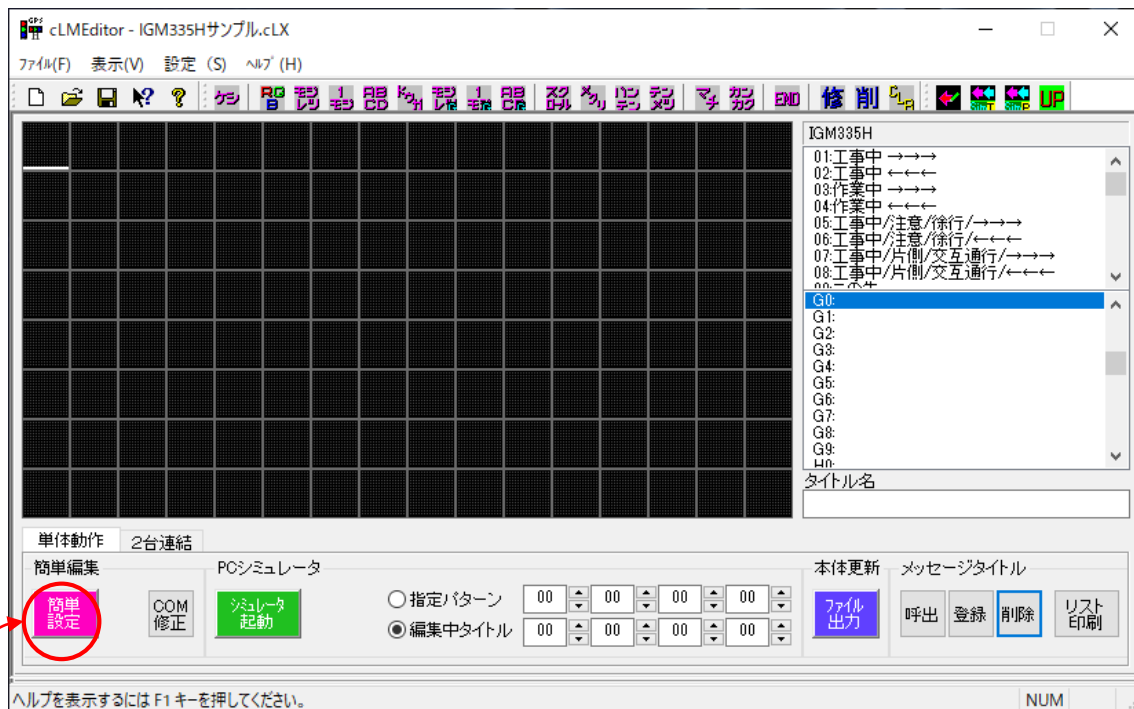
- スクロールして表示させる場合は [5-1.] へ進んでください。
- 固定点滅表示させる場合は [5-2.] へ進んでください。
- 外字を作成して表示させる場合は [5-3.] へ進んでください。

5-1. メッセージ作成例1 <スクロール>【その1】

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を繰り返して表示させます。

（1）表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが
起動します。



5-1. メッセージ作成例1 <スクロール>【その2】

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を繰り返して表示させます。

(2) メッセージの作成

表示文章 簡単設定 [文章]

縦型/横型 指定 横型

開始時画面消去 文字登録領域以外消去

文字列 (有効文字数 64文字) 全角換算文字数 12 文字配置 表示色 表示方法 縦倍角 横倍角

文字列A (1行目) 注意して走行してください 12 中央 白 スクロール ☐ 縦倍 ☐ 横倍

半角文字は数字および一部英字と記号のみ有効
(縦型 半角含む文字列では、文字位置がずれる場合有)

表示保持時間 1.0秒(点滅時のON時間は0.50秒)

終了時画面消去 消去しない

スクロール速度 ふつう

タイトル登録先 ユーザー 空き領域に自動登録

PC Simulator キャンセル OK

①『注意して走行してください』を入力します。

②『文字色』を指定できます。(カラー機種の場合に有効)

③『スクロール』を選択します。(文字数により自動設定)

※ その他の設定は必要に応じて行ってください。

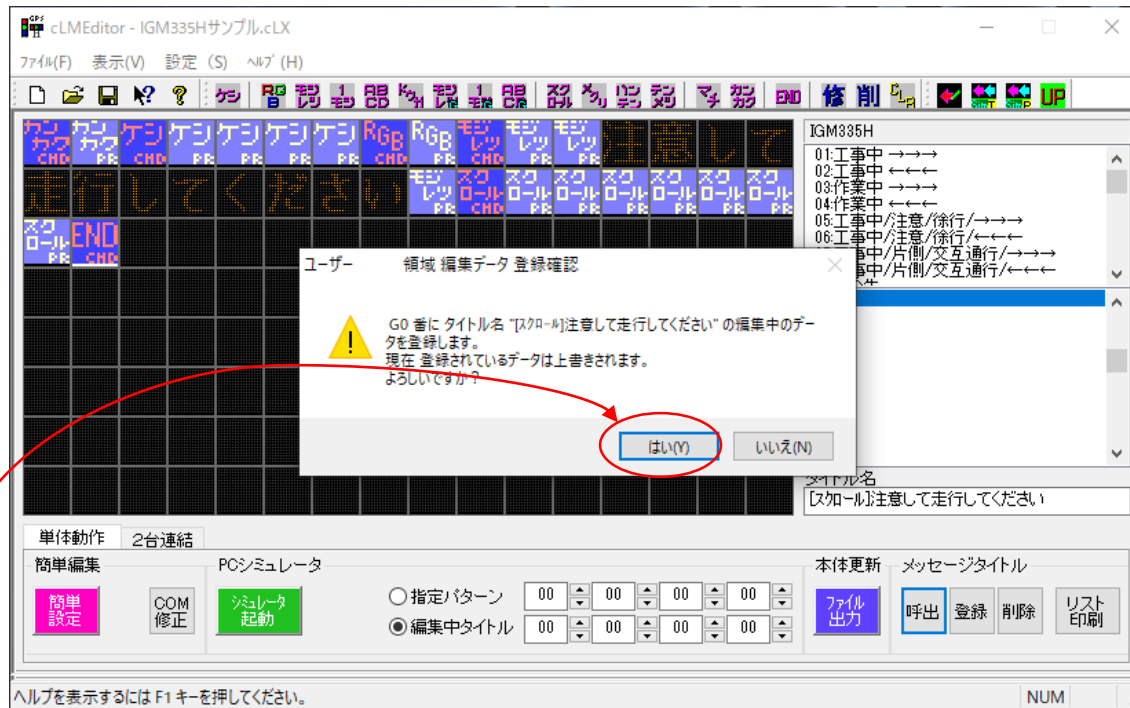
④『OK』ボタンを押します。

5-1. メッセージ作成例1 <スクロール>【その3】

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を繰り返して表示させます。

（3）メッセージの登録



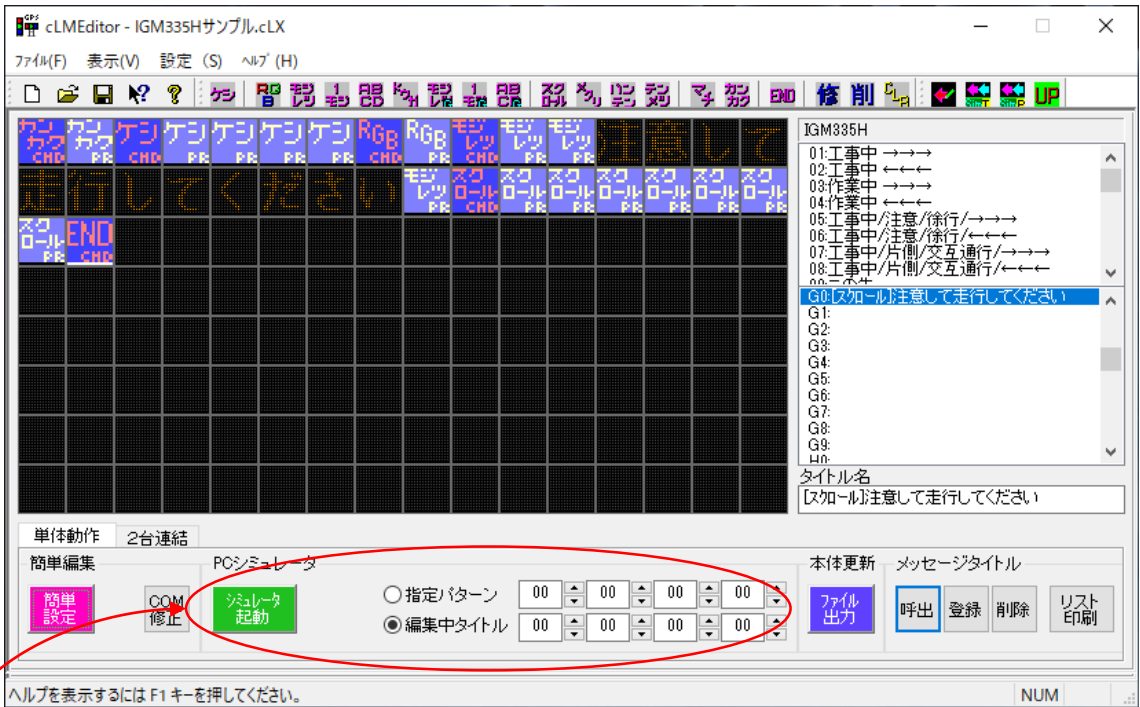
① 作成したメッセージを空き領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

5-1. メッセージ作成例1 <スクロール>【その4】

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録

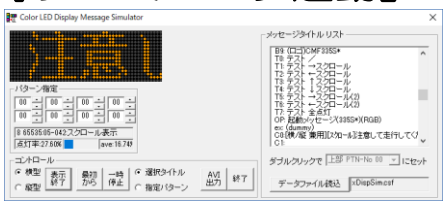


② GO番に「[スクロール]注意して走行してください」が登録されました。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0, E0, 130 等）

③ 『シミュレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。

※他の文章も追加する場合は、5-1.メッセージ作成例1の【その1】～【その4】を繰り返してください。

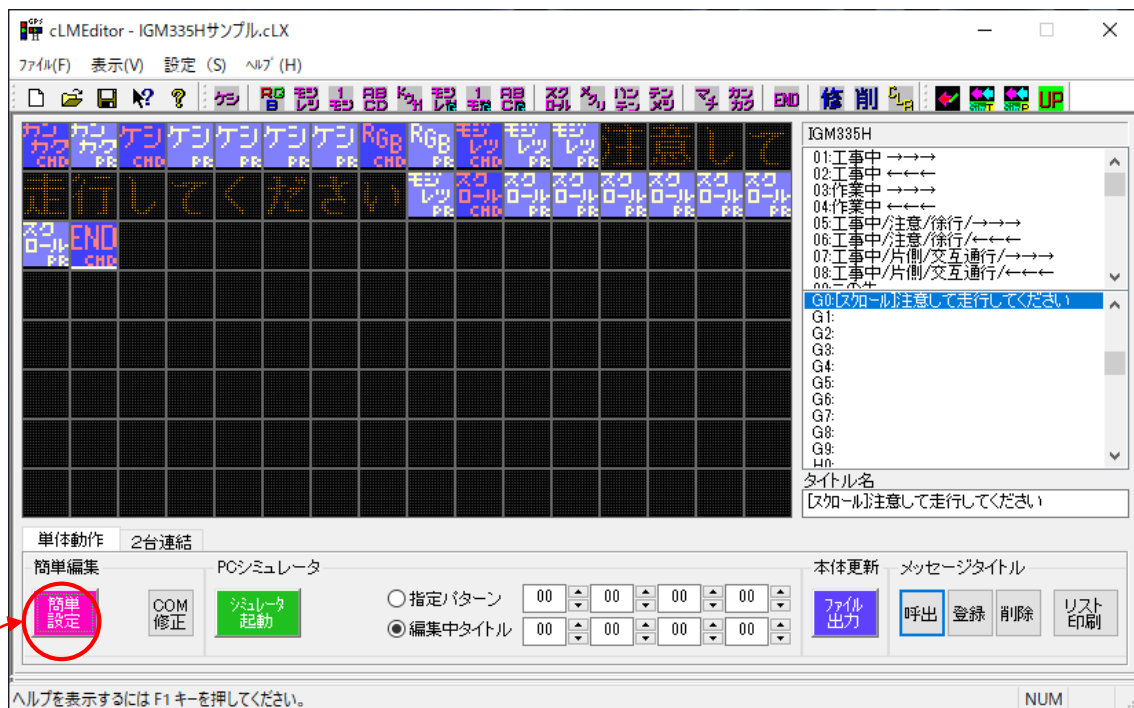


5-2. メッセージ作成例2 <固定/点滅>【その1】

●実際に文字を作成しよう！

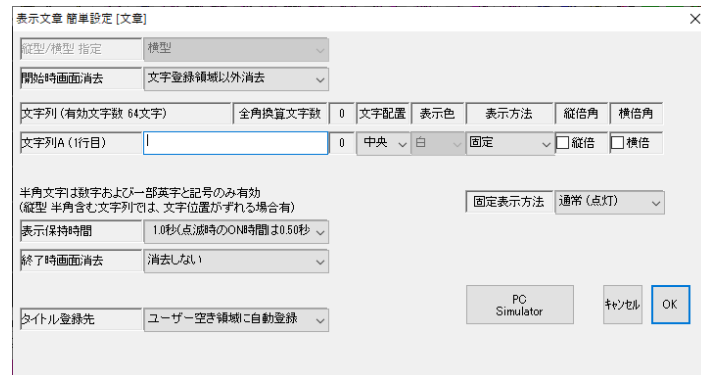
例：『工事中』（固定点滅）を繰り返して表示させます。

（1）表示文章簡単設定ダイアログの起動



① 『簡単設定』 ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが
起動します。



5-2. メッセージ作成例2 <固定/点滅>【その2】

●実際に文字を作成しよう！

例：『工事中』（固定点滅）を繰り返して表示させます。

(2) メッセージの作成

The screenshot shows the '表示文章 簡単設定 [文章]' dialog box. Red circles and arrows highlight the following elements:

- The '文字列A (1行目)' field containing the text '工事中'.
- The '表示方法' dropdown menu set to '固定'.
- The '固定表示方法' dropdown menu set to '点滅1(ON→OFF)'.
- The 'OK' button at the bottom right.

Other visible settings include: '縦型/横型 指定' set to '横型', '開始時画面消去' set to '文字登録領域以外消去', '文字列 (有効文字数 64文字)' set to '3', '文字配置' set to '中央', '表示色' set to '白', '表示時間' set to '1.0秒', and '終了時画面消去' set to '消去しない'.

①『工事中』を入力します。

②『固定』を指定します。（文字数により自動設定）

③『点滅1』を選択します。

※ その他の設定は必要に応じて行ってください。
カラー機種では色指定も可能です。

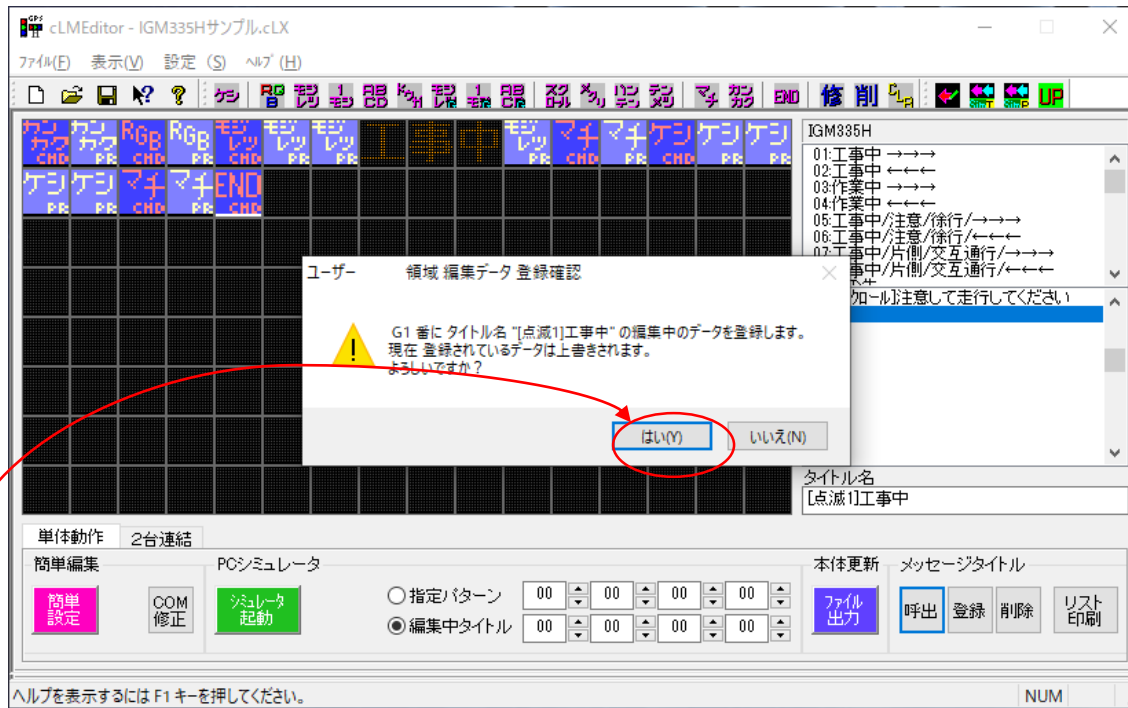
④『OK』ボタンを押します。

5-2. メッセージ作成例2 <固定/点滅>【その3】

●実際に文字を作成しよう！

例：『工事中』（固定点滅）を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録



① 作成したメッセージを空き領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

5-2. メッセージ作成例2 <固定/点滅>【その4】

●実際に文字を作成しよう！

例：『工事中』（固定点滅）を繰り返して表示させます。

(3) メッセージの登録



② G1番に「[点滅1]工事中」が登録されました。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0, C0, 130等）

③ 『シュミレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。

※他の文章も追加する場合は、5-2.メッセージ作成例2の【その1】～【その4】を繰り返してください。



5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その1】

●実際に文字を作成しよう！

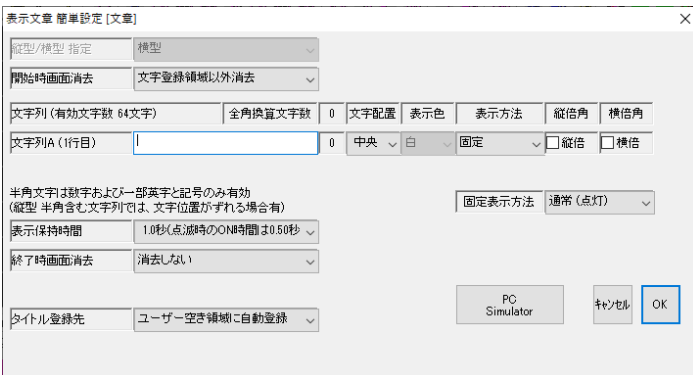
例：『 iFX 』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（1）表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが
起動します。



5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その2】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（2）仮メッセージの作成

①『工事中』を入力します。（適当な文字でかまいません）

②『固定』を指定します。（文字数により自動設定）

③『点滅1』を選択します。

※ その他の設定は必要に応じて行ってください。
カラー機種では色指定も可能です。

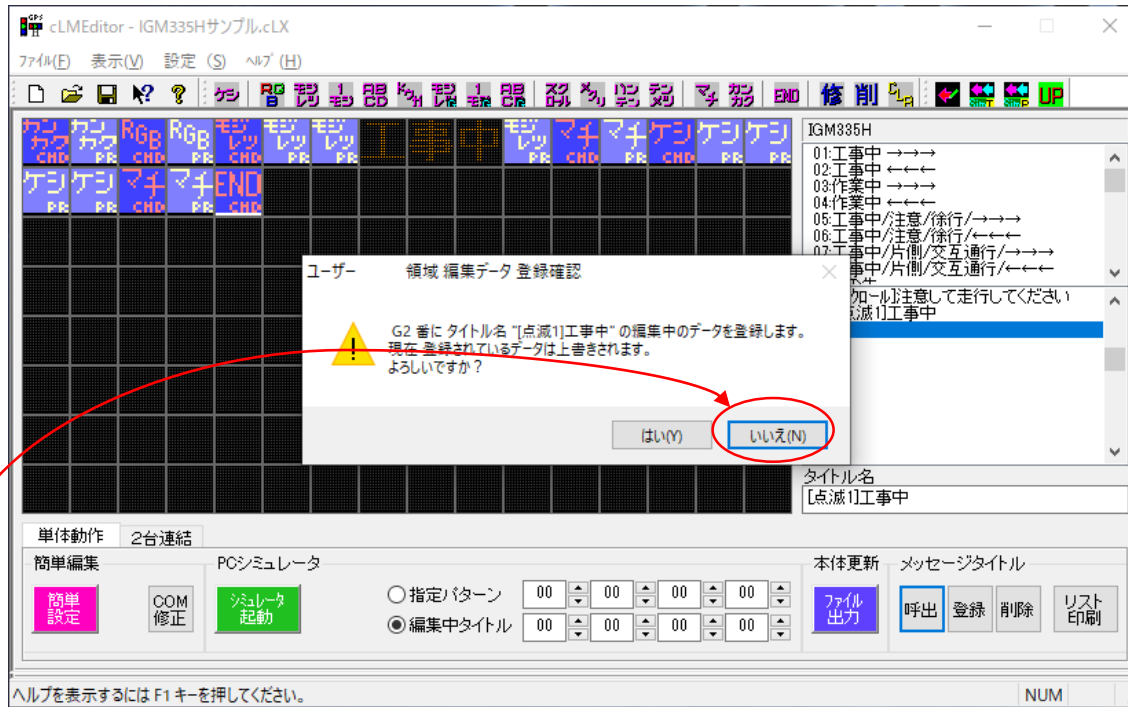
④『OK』ボタンを押します。

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その3】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（2）仮メッセージの作成



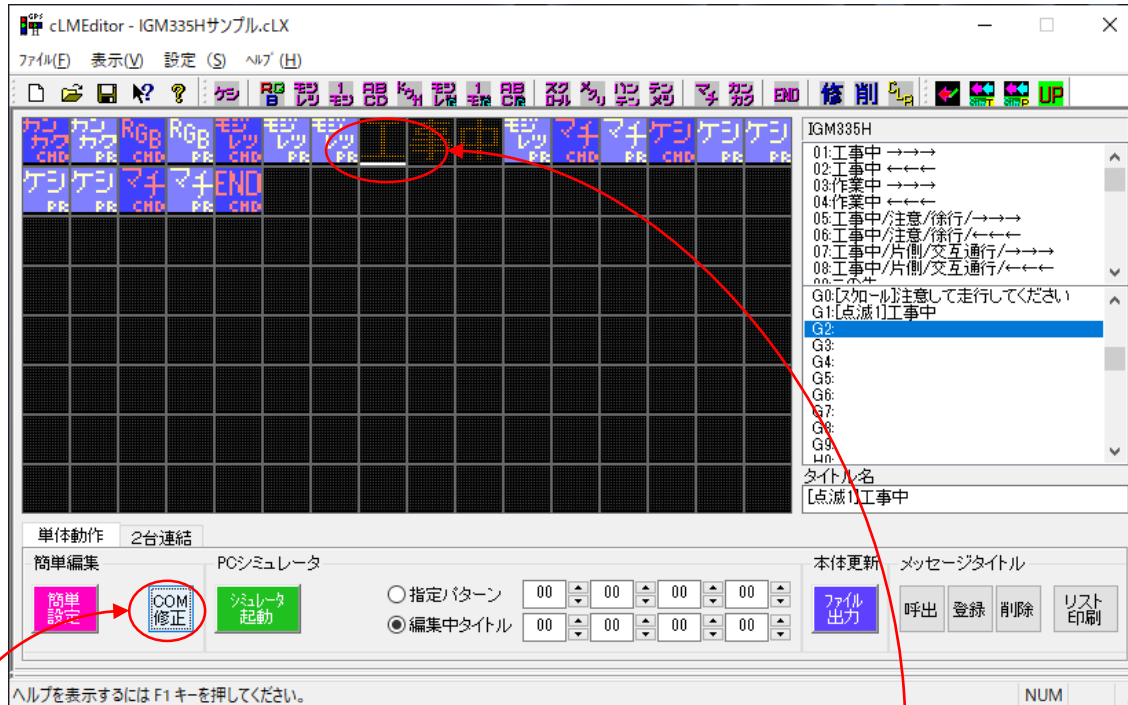
⑤ この時点では、作成したメッセージを登録しません。『いいえ(N)』を押してください。

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その4】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

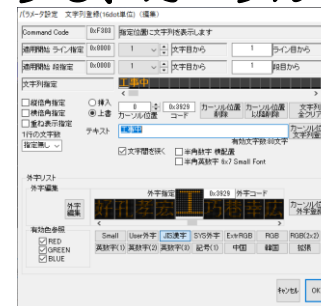
（3）外字の作成



① マウスの左ボタンで「工」の字の場所をクリックし、カーソル(白線)を移動させます。

② 『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが
起動します。



5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その5】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（3）外字の作成

パラメータ設定 文字列登録(16dot単位) (編集)

Command Code 0xF303 指定位置に文字列を表示します

適用開始 ライン指定 0x8000 1 文字目から 1 ライン目から

適用開始 段指定 0x0000 1 文字目から 1 段目から

文字列指定 工事中

☐ 縦倍角(横型機種) ☐ 挿入
☐ 横倍角(横型機種) ☒ 上書
☐ 重ね表示指定

1行の文字数 テキスト 工事中 有効文字数:80文字

☒ 文字間を狭く ☐ 半角数字 横配置
☐ 半角英数字 6x7 Small Font

外字リスト

外字編集 外字指定 0x1000 外字コード

有効色参照

☒ RED
☒ GREEN
☒ BLUE

Small User外字 JS漢字 SYS外字 ExtrRGB RGB RGB(2x2)

英数字(1) 英数字(2) 英数字(3) 記号(1) 中国 韓国 拡張

キャンセル OK

③『ユーザー外字』ボタンを押します。

④『外字編集』ボタンを押します。

外字編集ダイアログが起動します。

外字編集 D:\Project\MB_IQM\100Source\c\LMEditor_G4Debug\SystemFont\Z31FnGU.csf

参照領域 Small Font User Font JS Font System Font ExtraRGB Font ColorRGB Font 英数字 Font1 英数字 Font2 英数字 Font3 九数字池 Font1

0x1000 0x1010

☒ クリックしたフォントを参照領域に表示

0x1000 0x1001 0x1002 0x1003

☒ 同期 ☐ 同期 ☒ 同期 ☐ 同期

編集領域 User Font

☒ 編集ボタン適用 ☒ 編集ボタン適用 ☒ 編集ボタン適用 ☒ 編集ボタン適用

☐ 4文字分なぞて←→移動 適用

外字印刷

編集ボタン

参照領域からコピー

反転 クリア 初期化

移動 移動 移動 移動

移動 移動 移動 移動

移動 移動 移動 移動

色指定

白

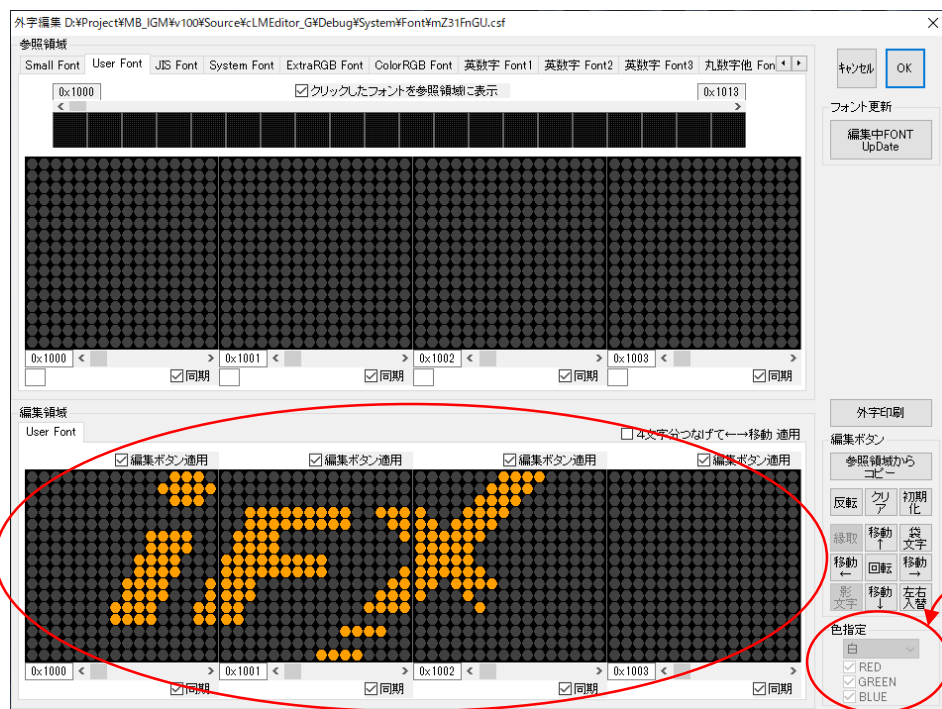
☒ RED
☒ GREEN
☒ BLUE

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その6】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（3）外字の作成



カラー機種では1ドット毎の色指定が可能です。

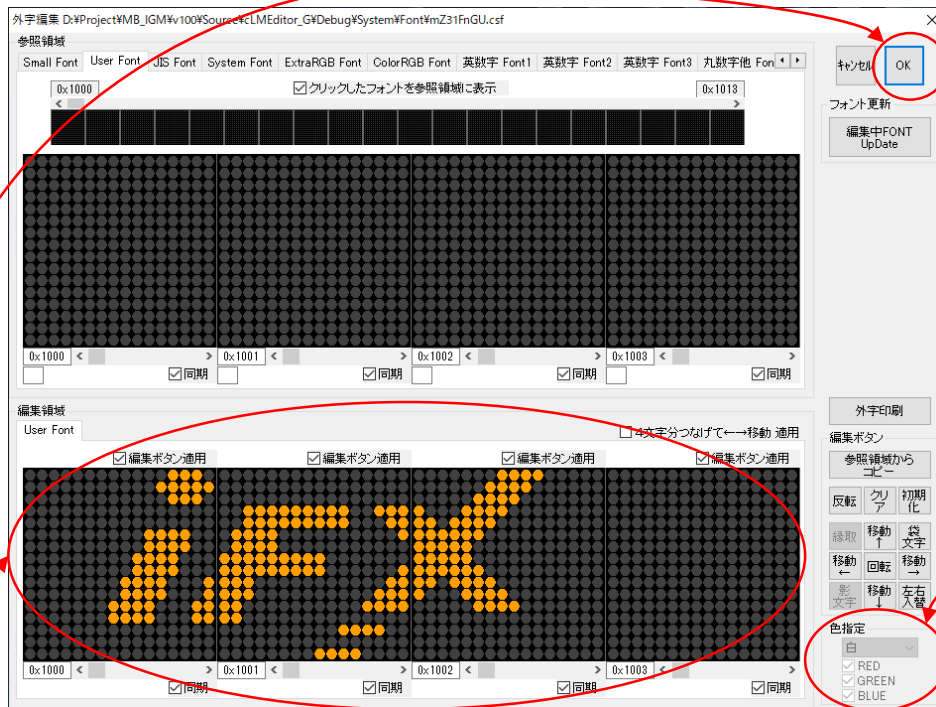
⑤ 編集領域のドットをマウスのクリックにより ON/OFF させて、外字を作成します。

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その7】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

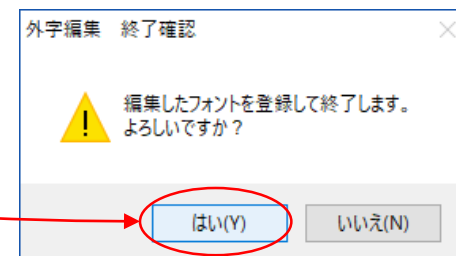
（3）外字の作成



カラー機種では1ドット毎の色指定が可能です。

⑥ 外字の作成後、『OK』ボタンを押してフォント登録します。

⑦ 外字編集終了確認メッセージが出ます。
『はい(Y)』を押してください。



5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その8】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（4）作成した外字の登録

登録された文字が表示されます。

ここに表示されている文章(文字)が表示されます。

作成した外字が表示されます。

表示されていない場合は、領域を一度クリックしてください。

① 作成した外字を登録したい位置にカーソルがあることを確認して、

『カーソル位置 外字登録』 ボタンを押し、文字を登録します。

（大きく表示されている外字が登録されます）

登録は1文字分ずつ行われます。上記の例では3文字分の登録が必要です。

登録位置と登録外字に注意して繰り返してください。

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その9】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（4）作成した外字の登録

パラメータ設定 文字列登録(16dot単位) (編集)

Command Code 0xF303 指定位置に文字列を表示します

適用開始 ライン指定 0x8000 1 文字目から 1 ライン目から

適用開始 段指定 0x0000 1 文字目から 1 段目から

文字列指定 iFX

☐ 縦倍角(横型機種) ☐ 挿入
☐ 横倍角(横型機種) ☒ 上書
☐ 重ね表示指定

カーソル位置 3 0x0000 カーソル位置 削除 カーソル位置 以降削除 文字列 全クリア

1行の文字数 テキスト 工事中 有効文字数:80文字

指定無し ☐ 文字間を狭く ☐ 半角数字 横配置
☐ 半角英数字 6x7 Small Font

外字リスト
外字編集

外字指定 iFX 0x1002 外字コード

カーソル位置 外字登録

有効色参照
☒ RED
☒ GREEN
☒ BLUE

Small User外字 JIS漢字 SYS外字 ExtrRGB RGB RGB(2x2)
英数字(1) 英数字(2) 英数字(3) 記号(1) 中国 韓国 拡張

キャンセル OK

登録された文字が表示されます。

ここに表示されている文章(文字)が表示されます。

② 作成した外字が登録されていることを確認します。

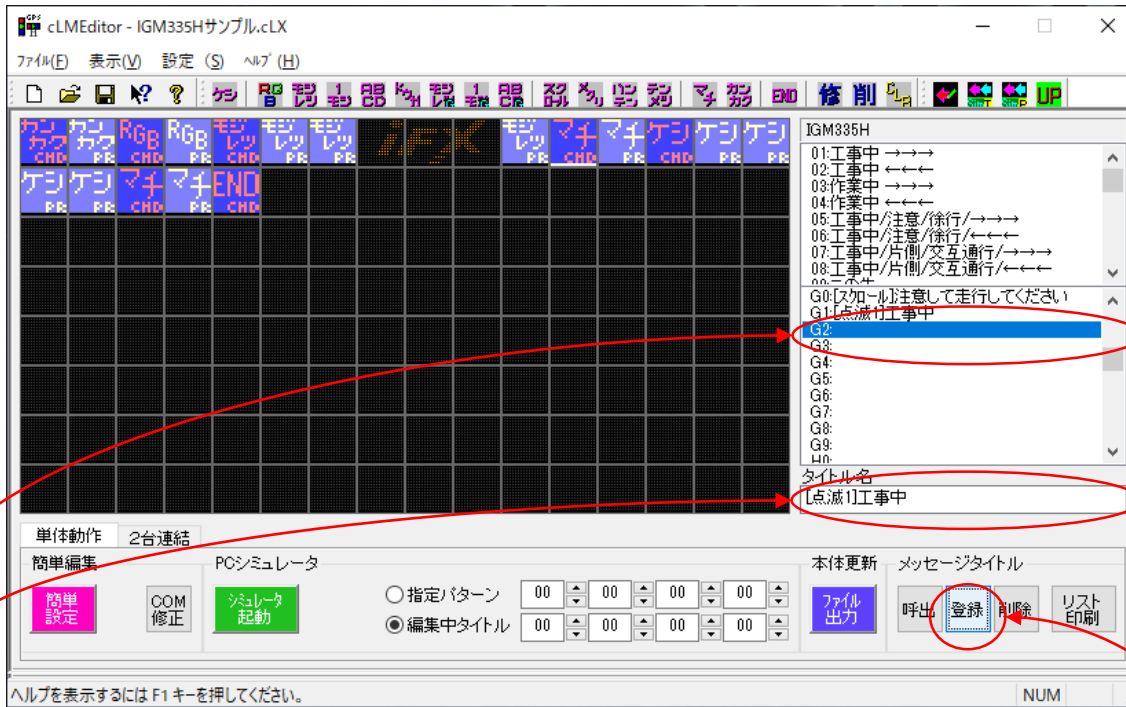
③ 『OK』 ボタンを押します。

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その10】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（5）メッセージの登録



- ① 登録するデータのタイトル名を入力します。
- ② 空いている番号(ここではG2)を選択します。
- ③ 『登録』ボタンをおしてデータを登録します。

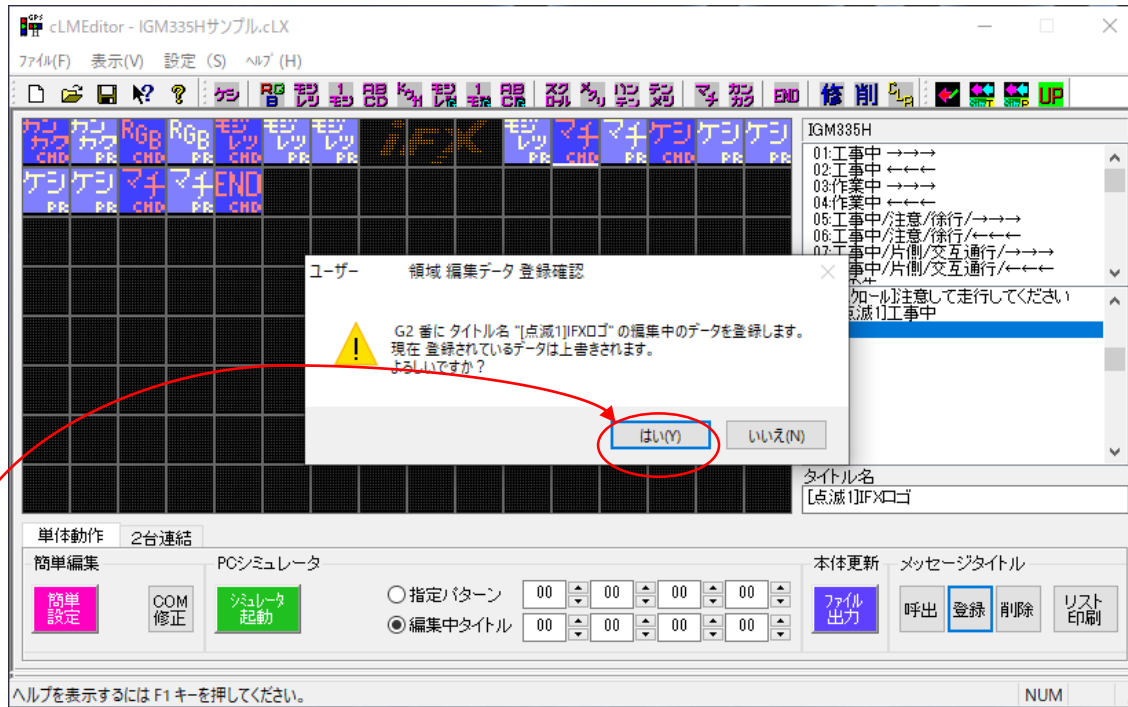
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0,E0,130等）

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その1 1】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

（5）メッセージの登録



④ 作成したメッセージを指定領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

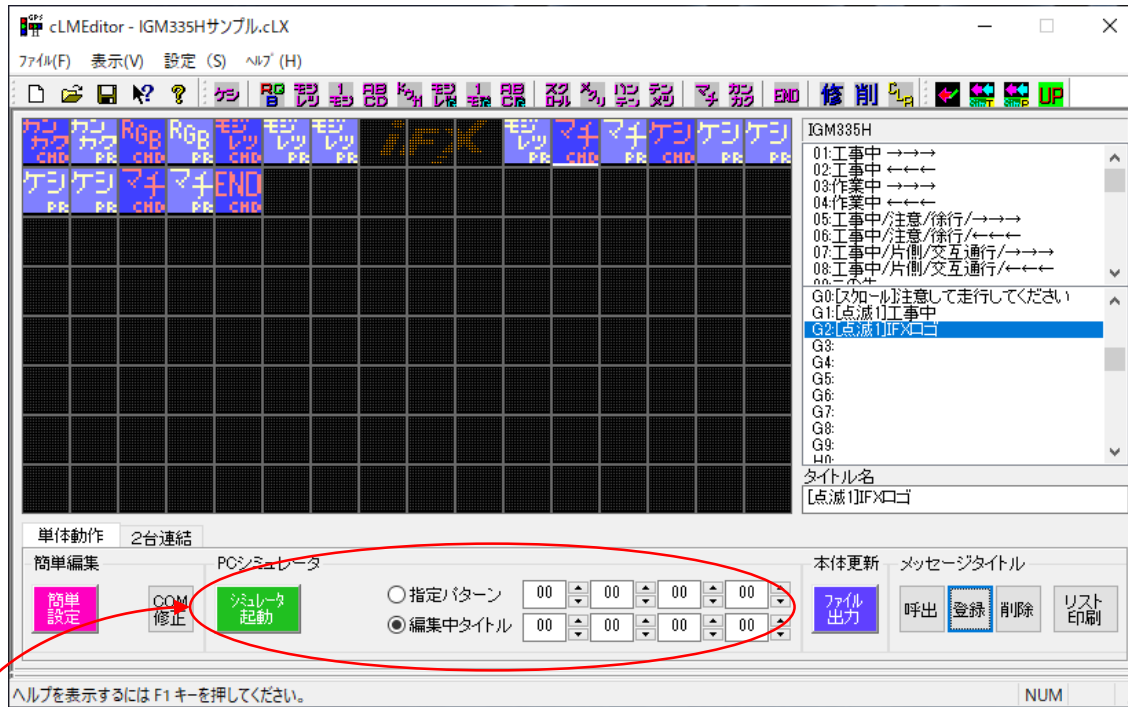
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0, E0, 130 等）

5-3. メッセージ作成例3 <固定/点滅><ユーザー外字>【その1 2】

●実際に文字を作成しよう！

例：『iFX』（社名ロゴ）（固定点滅）を表示させます。

(5) メッセージの登録



② G2番に「[点滅]iFXロゴ」が登録されました。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0, E0, 130 等）

③ 『シミュレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。

※他の文章も追加する場合は、5-3.メッセージ作成例3の【その1】～【その1 2】を繰り返してください。

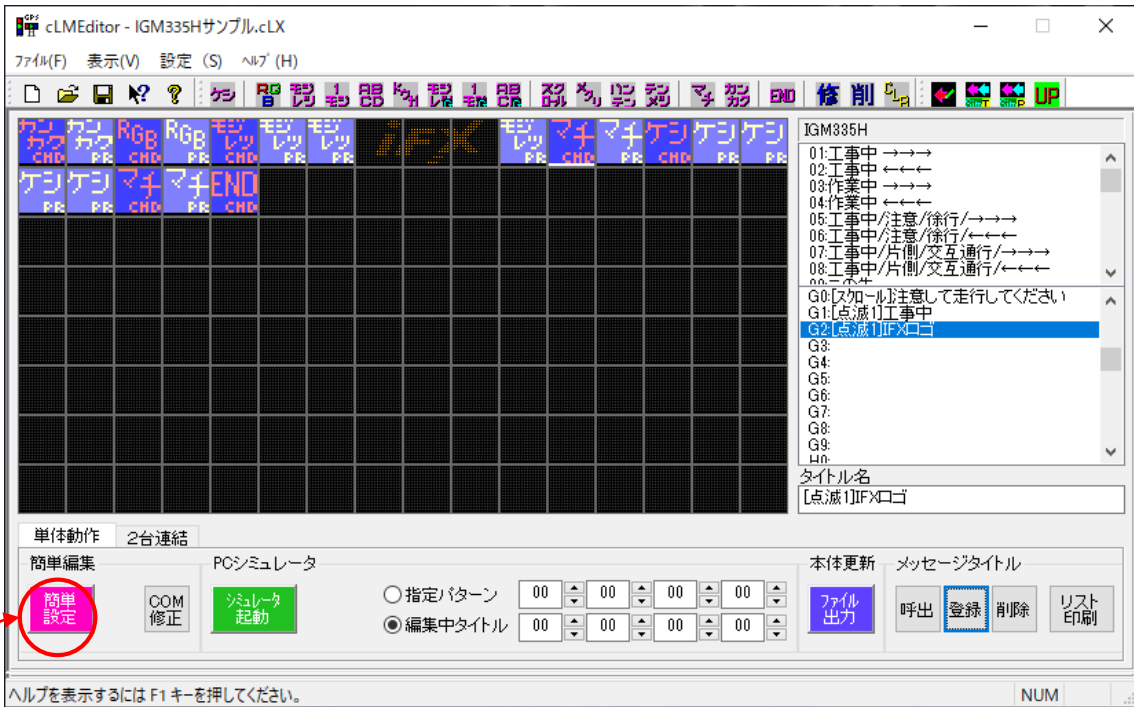


5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その1】

●実際に文字を作成しよう！

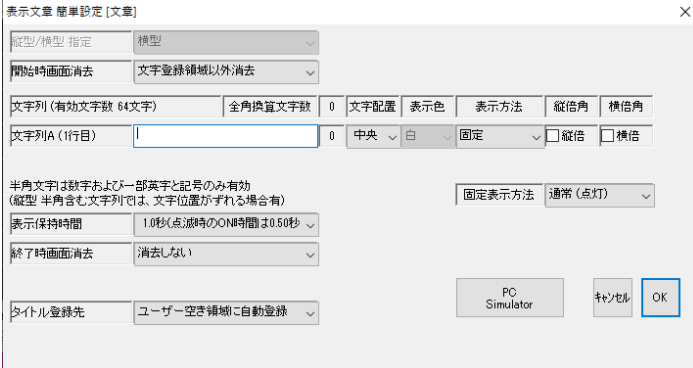
例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(1) 表示文章簡単設定ダイアログの起動



①『簡単設定』ボタンを押します。

表示文章簡単設定ダイアログが
起動します。



5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その2】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成

表示文章 簡単設定 [文章]

縦型/横型 指定 横型

開始時画面消去 文字登録領域以外消去

文字列 (有効文字数 64文字) 全角換算文字数 3 文字配置 表示色 表示方法 縦倍角 横倍角

文字列A (1行目) 工事中 中央 白 スクロール ☐ 縦倍 ☐ 横倍

半角文字は数字および一部英字と記号のみ有効
(縦型 半角含む文字列では、文字位置がずれる場合有)

表示保持時間 1.0秒(点滅時のON時間は0.50秒)

終了時画面消去 消去しない

タイトル登録先 ユーザー空き領域に自動登録

スクロール速度 ふつう

PC Simulator キャンセル OK

①『工事中』を入力します。(適当な文字でかまいません)
(表示する文字数はあわせて下さい)

②『スクロール』を指定します。

③ スクロール速度を指定して下さい

※ その他の設定は必要に応じて行ってください。
カラー機種では色指定も可能です。

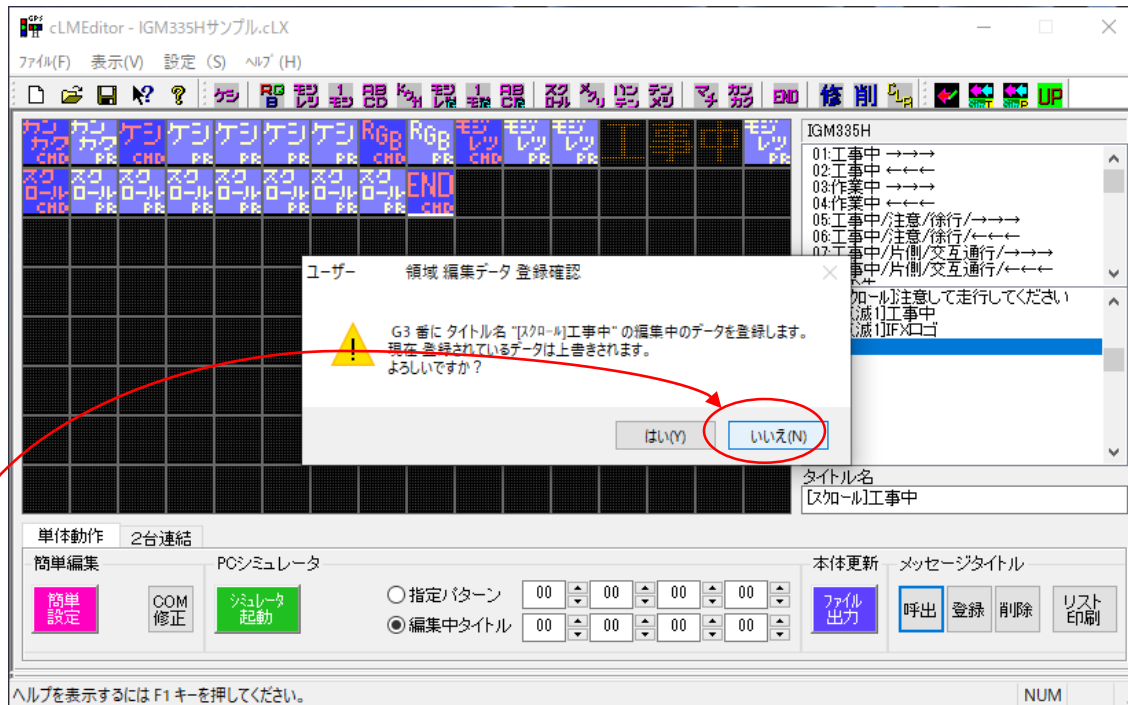
④『OK』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その3】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(2) 仮メッセージの作成



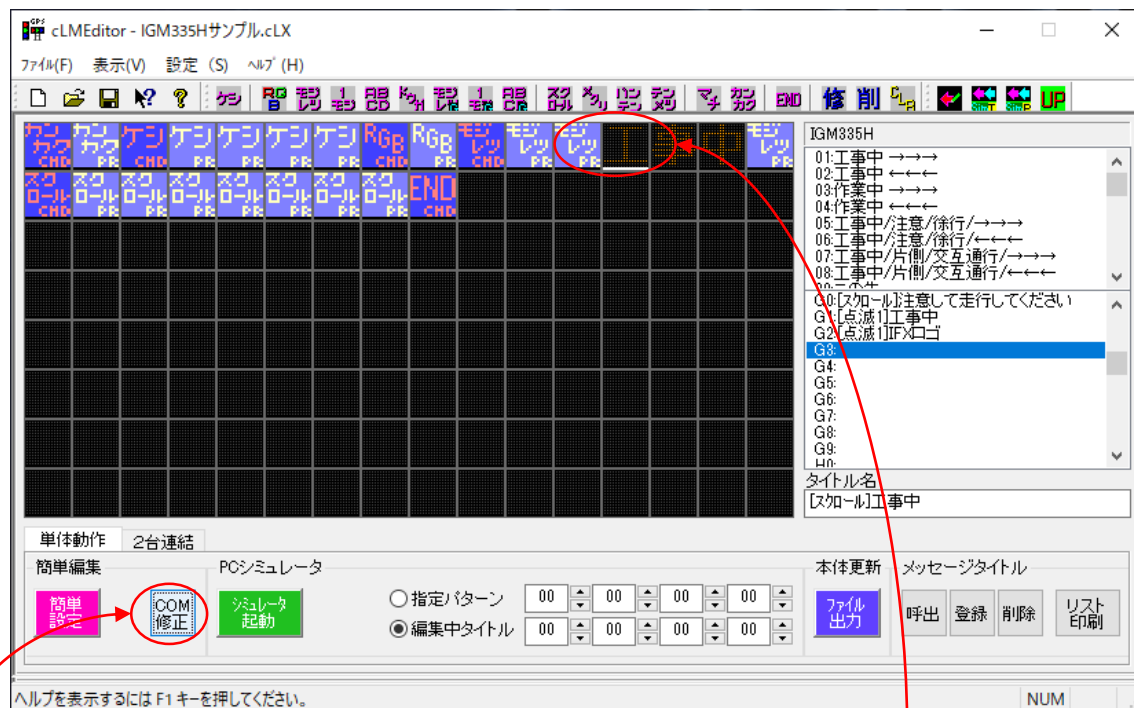
⑤ この時点では、作成したメッセージを登録しません。『いいえ(N)』を押してください。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その4】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(3) 外字の呼び出し



① マウスの左ボタンで「エ」の字の場所をクリックし、カーソル(白線)を移動させます。

② 『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが
起動します。



5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その5】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(3) 外字の呼び出し

③『システム外字』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その6】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(4) 外字の登録

登録された文字が表示されます。
ここに表示されている文章(文字)が表示されます。

登録済の外字が表示されます。
表示されていない場合は、領域を一度クリックしてください。

- ① 外字を登録したい位置にカーソルがあることを確認して、
『カーソル位置 外字登録』 ボタンを押し、文字を登録します。
(大きく表示されている外字が登録されます)
登録は1文字分ずつ行われます。上記の例では3文字分の登録が必要です。
登録位置と登録外字に注意して繰り返してください。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その7】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(4) 外字の登録

パラメータ設定 文字列登録(16dot単位) (編集)

Command Code 0xF303 指定位置に文字列を表示します

適用開始 ライン指定 0x8030 4 文字目から 49 ライン目から

適用開始 段指定 0x0000 1 文字目から 1 段目から

文字列指定 ⇒⇒⇒

☐ 縦倍角(横型機種) ☐ 挿入 3 0x0000 カーソル位置 0x0000 文字列全クリア

☐ 横倍角(横型機種) ☒ 上書 カーソル位置 削除 カーソル位置 以降削除

☐ 重ね表示指定 テキスト 工事中 有効文字数:80文字

1行の文字数 指定無し

☒ 文字間を狭く ☐ 半角数字 横配置

☐ 半角英数字 6x7 Small Font

外字リスト

外字編集

外字指定 ⇒ 0x5000 外字コード

外字編集

有効色参照

☒ RED ☒ GREEN ☒ BLUE

Small User外字 JIS漢字 SYS外字 ExtrRGB RGB RGB(2x2)

英数字(1) 英数字(2) 英数字(3) 記号(1) 中国 韓国 拡張

キャンセル OK

登録された文字が表示されます。
ここに表示されている文章(文字)が表示されます。

② 作成した外字が登録されていることを確認します。

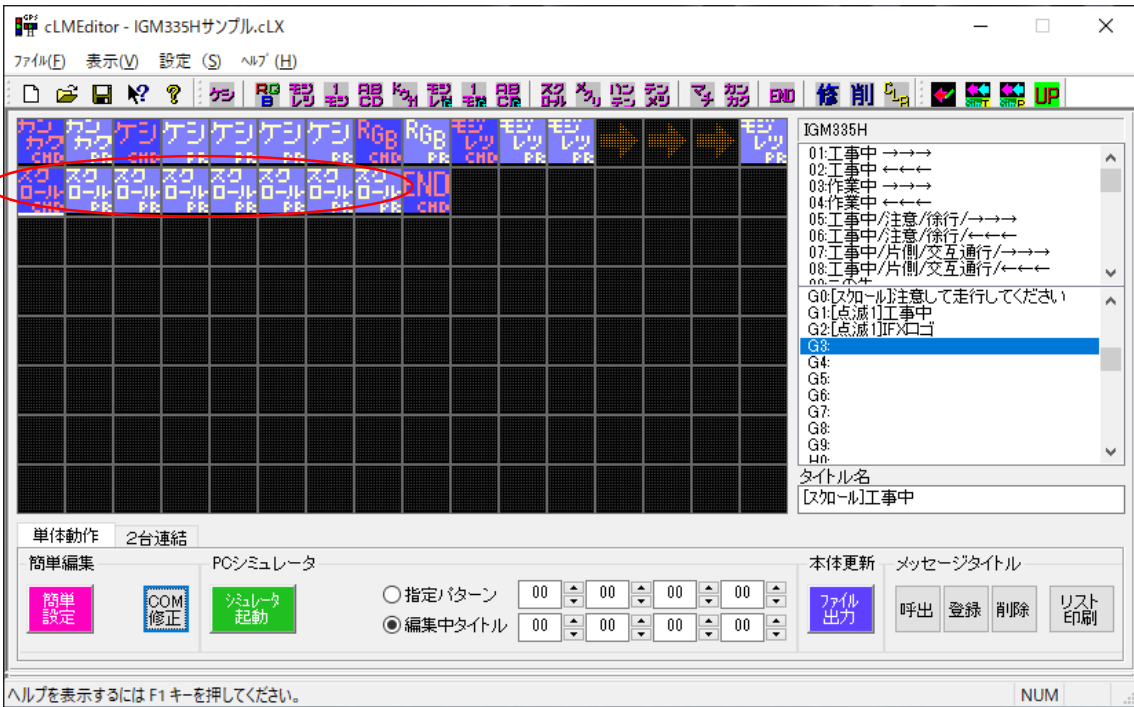
③ 『OK』 ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その8】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

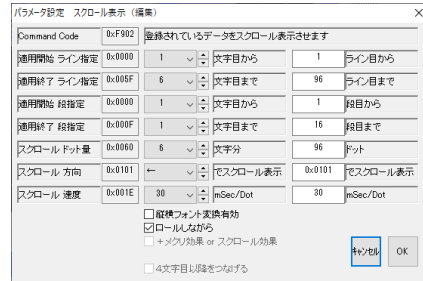
(5) スクロール方向の変更



① マウスの左ボタンで「**スクロールCMD**」の字の場所をクリックし、カーソル(白線)を移動させます。

② 『COM修正』ボタンを押します。

パラメータ設定 文字登録 ダイアログが起動します。



5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その9】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(5) スクロール方向の変更

パラメータ設定 スクロール表示 (編集)

Command Code	0xF902	登録されているデータをスクロール表示させます				
適用開始 ライン指定	0x0000	1	▼	文字目から	1	ライン目から
適用終了 ライン指定	0x005F	6	▼	文字目まで	96	ライン目まで
適用開始 段指定	0x0000	1	▼	文字目から	1	段目から
適用終了 段指定	0x000F	1	▼	文字目まで	16	段目まで
スクロール ドット量	0x0060	6	▼	文字分	96	ドット
スクロール 方向	0x0201	→	▼	でスクロール表示	0x0201	でスクロール表示
スクロール 速度	0x001E	30	▼	mSec/Dot	30	mSec/Dot

☐ 縦横フォント変換有効
☒ ロールしながら
☐ + メクリ効果 or スクロール効果
☐ 4文字目以降をつなげる

キャンセル OK

③『スクロール方向』を[→]に変更します。

④『ロールしながら』にチェックを入れます。

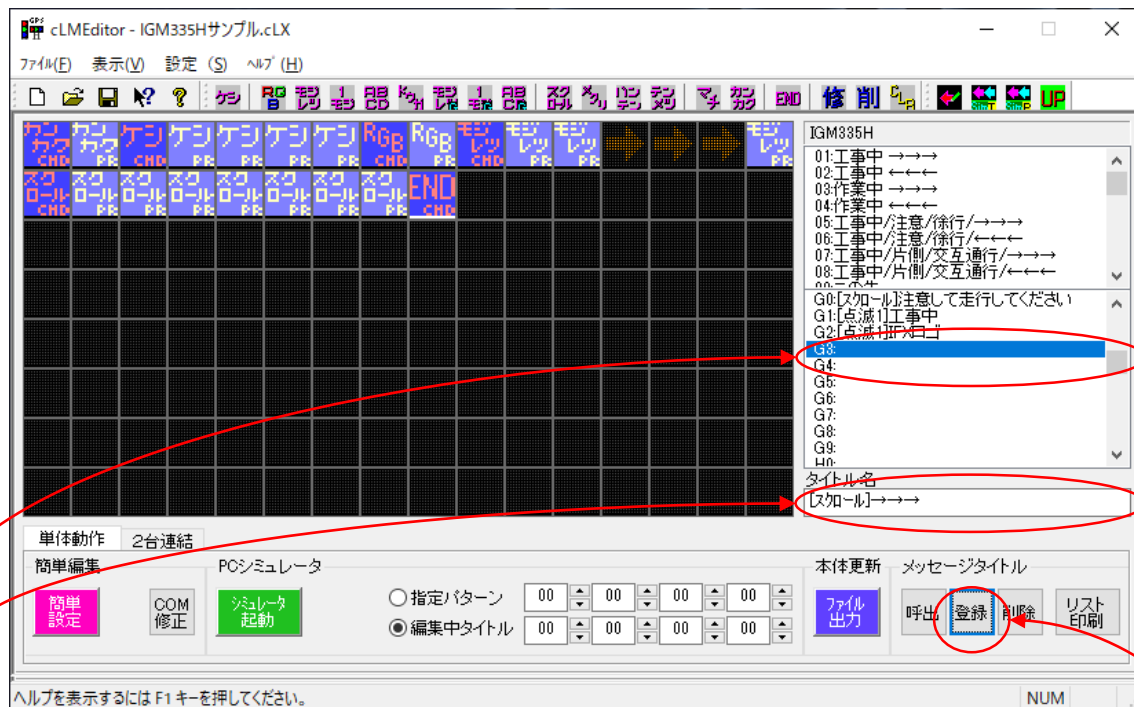
⑤『OK』ボタンを押します。

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その10】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録



- ① 登録するデータのタイトル名を入力します。
- ② 空いている番号(ここではG3)を選択します。
- ③ 『登録』ボタンをおしてデータを登録します。

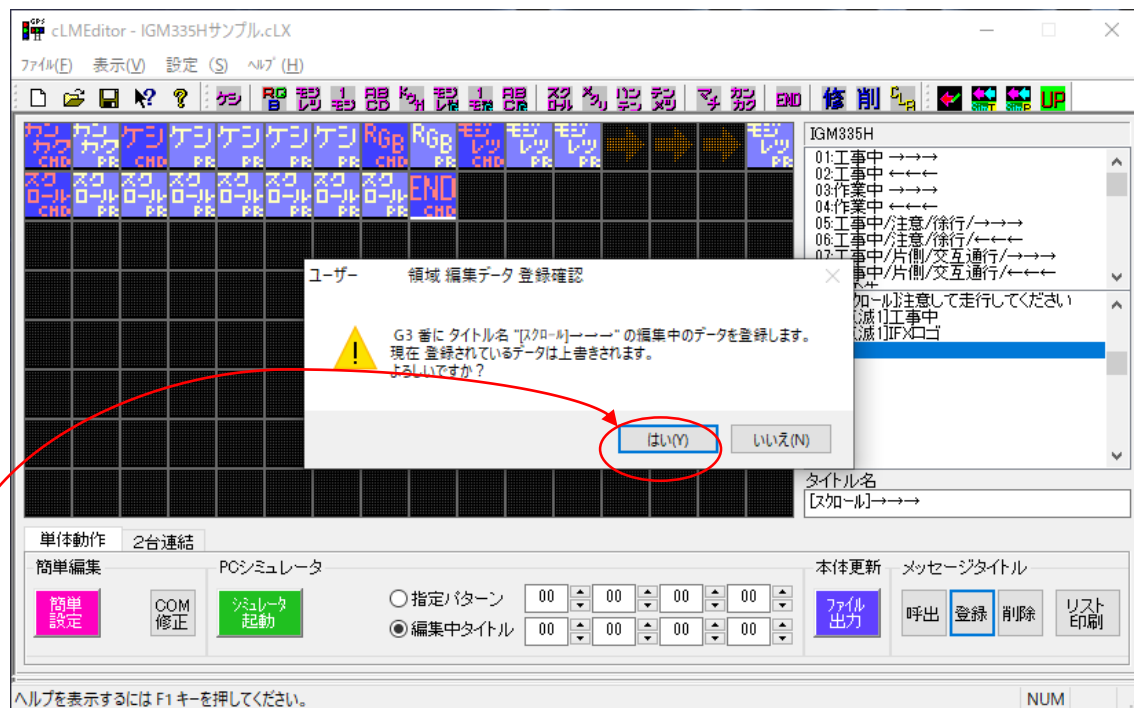
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0，E0，130等）

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その11】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録



④ 作成したメッセージを指定領域に登録します。『はい(Y)』を押してください。

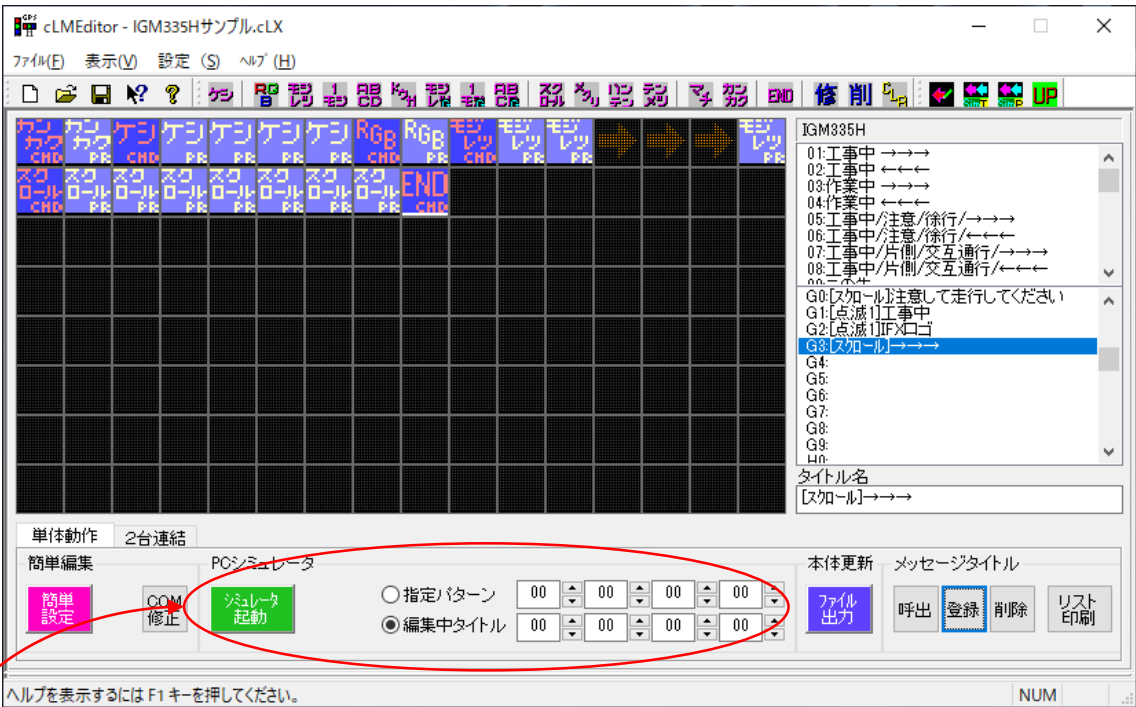
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0，E0，130等）

5-4. メッセージ作成例4 <スクロール><登録済外字>【その12】

●実際に文字を作成しよう！

例：『⇒⇒⇒』(右向き矢印)(スクロール)を表示させます。

(6) メッセージの登録

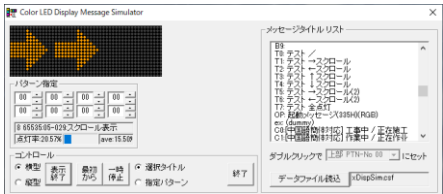


② G3番に「[スクロール]→→→」が登録されました。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります（U0，E0，130等）

③ 『シミュレータ起動』で、作成したメッセージがどのように表示されるか確認できます。

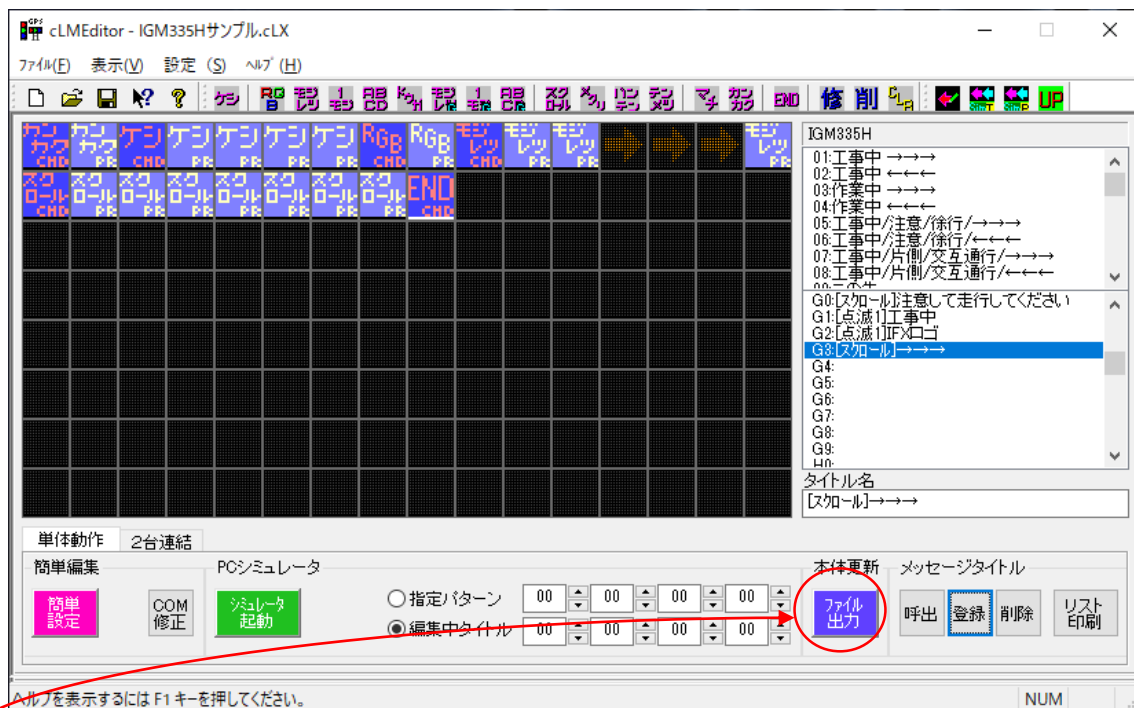
※他の文章も追加する場合は、5-4.メッセージ作成例4の【その1】～【その12】を繰り返してください。



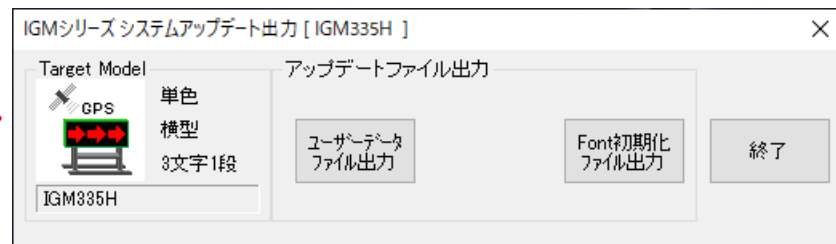
6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その1】

- 作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。
このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(1) システムアップデート出力ダイアログの起動



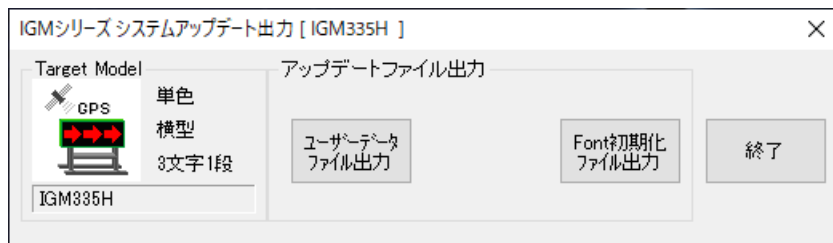
- ① USBメモリをPCに接続しておきます。
- ② 『ファイル出力』ボタンを押します。



6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その2】

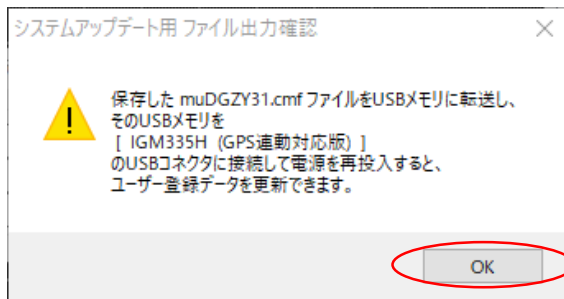
- 作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。
このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(2) 更新ファイルの出力

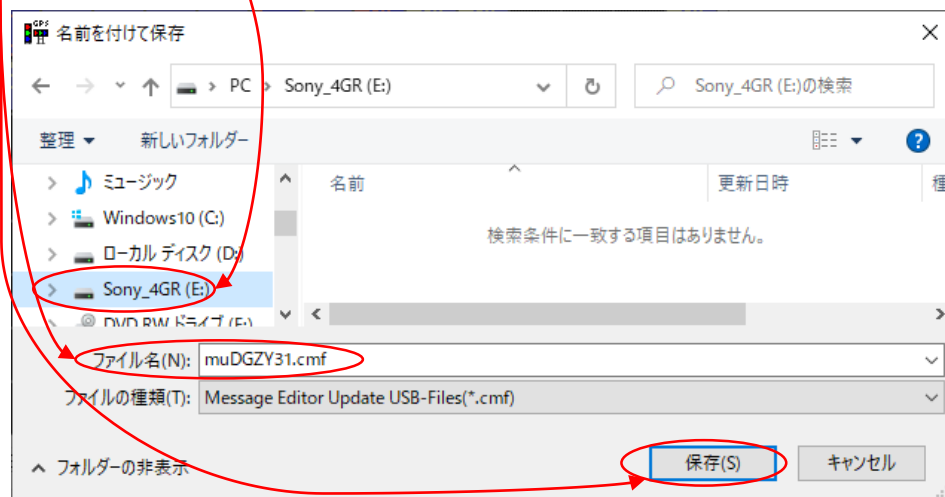


※ 更新するデータにより、ボタンを選択してください。

- ① 『ユーザーデータファイル出力』 ボタンを押します。
- ② PCに接続した[USBメモリ]を選択します。
- ③ 編集ソフトの指定するファイル名を変更せずに保存』します。(機種毎にファイル名が違います)



- ④ 『OK』 を押します。
- ⑤ USBメモリをPCから外します。

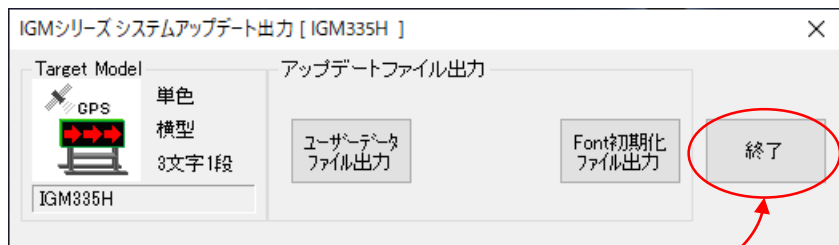


※ ファイル名は絶対に変更しないでください。
ファイル名を変更すると本体の更新ができません。

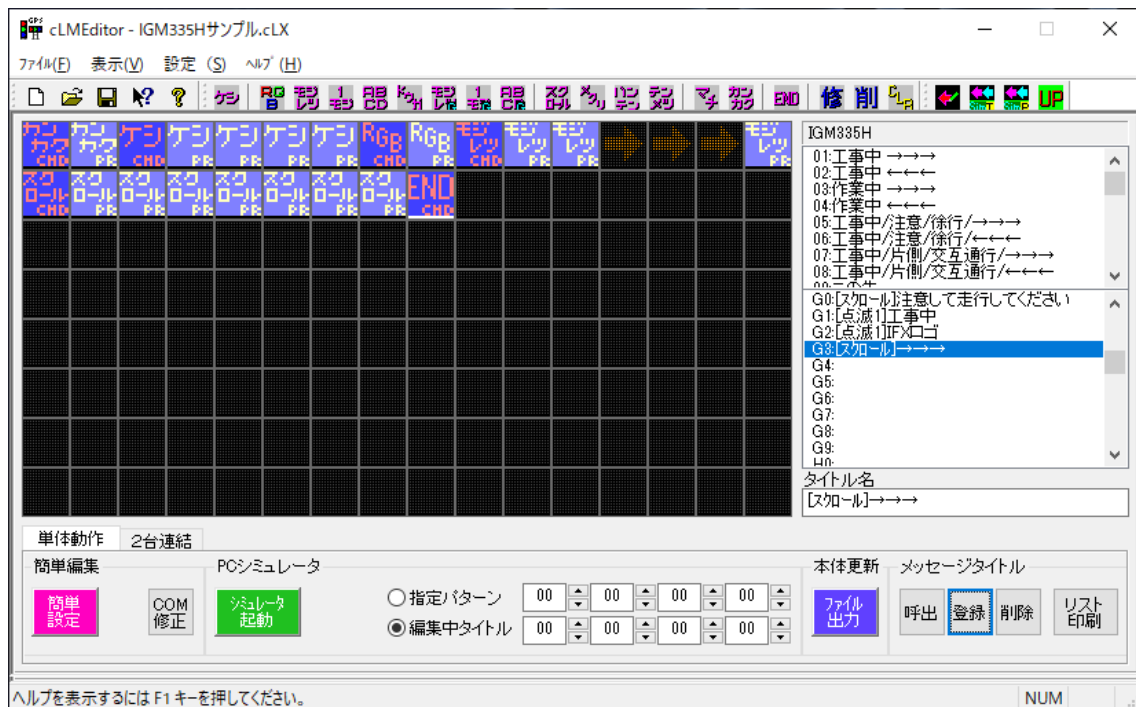
6. LED標示機本体更新ファイルの出力 【その3】

- 作成したメッセージデータによる本体更新用ファイルをUSBメモリに出力します。
このUSBメモリをLED標示機本体に接続して電源を入れることにより本体のデータを更新します。

(3) システムアップデート出力ダイアログの終了



- ① 『終了』 ボタンを押します。



7. LED標示機本体への書き込み

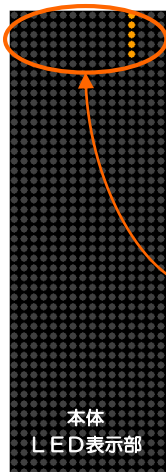
●本体更新用ファイルが保存されたUSBメモリを使ってLED標示機本体への書き込みを行います。

※ この作業は、LED標示機本体のバッテリーが十分に充電されている状態で行ってください。

- ① LED標示機の電源を切ります。
- ② LED標示機の側面の『USB入力コネクタ』のゴム蓋を外します。
【位置は機種により異なります】
- ③ ゴム蓋を外した箇所にあるUSB端子に、データを保存転送したUSBメモリを接続します。
- ④ LED標示機の電源を入れます。

※ USBメモリを接続した状態で電源を投入すると自動的に書き込みが開始されます。

- ⑤ 書き込み表示を確認します。



※ 書き込み中は、絶対に電源を落とさないで下さい。
(書き込み終了まで約1～3分程度かかります)

※ 書き込み中は、LED標示機のLED表示部の最端1列から点滅(カラー機種は点灯)し、順次点灯する列が増えていきます。
点滅(カラー機種は点灯)が始まらない場合は、USBメモリにデータを転送し直し、①からやり直して下さい。

- ⑥ 書き込みが終了すると、LED標示機が再起動し、設定済みのパターン番号の表示が開始されます。

(作成して書き込んだメッセージが自動で表示されるわけではありません。パターン番号の指定が必要です。次ページを参考に指定してください)

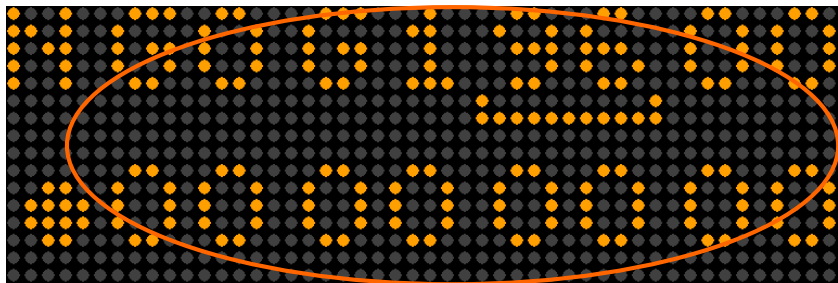


8. LED標示機本体での表示設定

●作成したメッセージデータをLED標示機本体で表示します。

※ 詳細はLED標示機本体の取扱説明書をご覧ください。

- ① LED標示機本体の『カーソル移動』『10桁』『1桁』ボタンを使って表示するメッセージの登録番号を設定します。



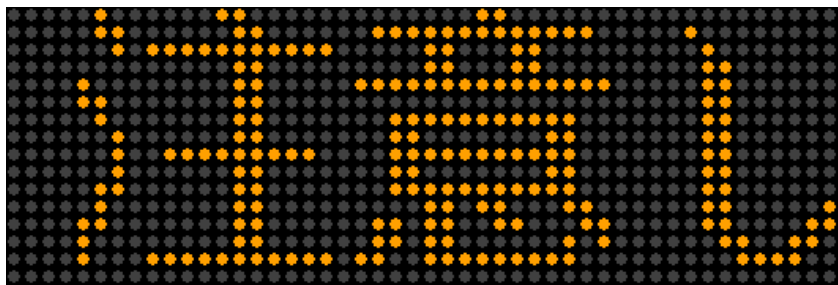
本体LED表示部

※ [C]と[0]等、文字の違いに注意してください。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります。
(U0,E0,130等)

※ 左の例では、G0,G1,96を指定しています。

- ② 表示を確認します。



本体LED表示部

※ 転送したデータは、LED標示機本体の電源を切っても消えません。

御不明点など御座いましたらご連絡下さい

長野県安曇野市穂高5252番2

TEL 0263-81-0155

URL <http://www.inform-ex.co.jp/>

株式会社 インフォメックス松本

